

## 11-(3) 放談会

- 1 放談会とは**、年に4回実施される行事で参加者が1、2点の絵画作品を持ち込み放談する会です。参加は自由、一般市民も参加できる“ワイガヤで楽しい会”、とても人気のある行事です。主役は出席者の皆さんです。会員のご友人や作家の方にもご参加いただいています。加えて一般市民への公開、参加を推進してきました。HPにも放談会の開催を案内し、一般市民の方々にもご参加いただいています。過去18年間、62回実施されています。当初3年間は、年3回の開催でしたが人気があり、2009年より年4回に増やしています。同好の士による絵の語らいは実に楽しく、二次会も毎回実施しています。担当の存在次第で放談会記録も制作され、HPに公開されています。ここ最近の参加者数は14～25名です。62回のうち半数27回でゲストをお招きしました。ゲストの多く(12名)が入会されています。
- 2 放談会の方針** 発足当初より、ワイガヤ、楽しい放談会が良いと、絵とフランクな会員が出会い、会員、お客様との放談の場を目指しています。
- 3 放談会の発足経緯** 故岩本 昭さんご提案の行事です。岩本さんの私塾のような雰囲気があり、梅野隆さんは長野から体が動かなくなるまで出席されていました。「あーと・わの会」の人気行事になっていました。当時は画廊のスペースをお借りしていました。岩本さんからは研究発表の場、アカデミックにしないようにとご指示。
- 4 放談会の4つの場** 放談会はコレクターにとって ①絵を皆で楽しむ場 ②会員、ゲストとの出会いの場、新入会者確保の場 ③情報交換の場 ④美術の学びの場でもあると思います。
- 5 「わの会」コレクション展、放談会の客観的見方** 「わの会」コレクション展、「わの会の眼」展、放談会は、(1)絵という「モノ」を所有して楽しむことから、(2)企画展という「コト」(体験)を開催して楽しみ、(3)放談会という「トキ」(時間)を楽しむことへの転換ともとらえることができます。会員は放談会という場の限定感や非再現性という希少性に魅力を感じてきているようです。(4)会員は絵によって自分という“存在”が受け入れられる場を欲しているのではないのでしょうか。いっとき集まり、盛り上がり、一体感を味わい、情報交換して解散する、これは一種の同好の士による、絵のお祭りです。放談会是一种のロールプレイングゲームかも知れません。(5)いずれにしても人は昔ながらのコミュニティーは窮屈だと思っています。そのように感じさせるコミュニティーや行事は、いずれ出席者の固定化、マンネリ現象が現れ、出席者の減少、衰退という道を踏む可能性があるので常にリフレッシュ対策、問題である現状を変えてゆく行動が不可欠だと認識が必要です。放談会は昔から長く続いてきている“お祭り”、“その運営ノウハウ”を一部では再現しているのかも知れません。(6)基本的に時間も発表の場も平等であることがとても重要です。
- 6 放談会を重点化** 「あーと・わの会」は少ない予算の中から放談会の開催を2009年から年3回→年4回に増やし、2014年、第37回からは野口 勉さん、上村真澄さん等の努力で放談会の開催案内に加え放談会記録をHPに掲載開始し、アクセス数も81件/月と多く人気です。理事長ご提案により、2018年には理事会で重点行事として予算を8万円/年に増加し、担当に3万円/年の謝礼を受け取っていただくことを選択しています。放談会は「モノ」「コト」「トキ」の全てを含む行事として、魅力ある「あーと・わの会」の重点事業となっています。
- 7 放談会の活用** 放談会では絵の放談が中心ですが、時に**1**出席者の近況報告、企画展の案内等も行われます。**2**事務局からの連絡事項、案内、実行委員会を兼ねることは発足当初から行われてきています。**3**各担当からの連絡事項、相談事も実施されます。**4**会員による小レクチャー、小講演、時には外部からゲストをお招きして小さな講演会も行われます。**5**放談会は色々な会場で開催され、

会員のコレクション拝見、ご自宅を兼ねる場合もあります。**6**コレクターにとって学びの場でもあり、考え方を変わると、人によっては一種のコレクションのコンペの場と感ずるかも知れません。**7**今後、譲りたい絵があればご紹介いただいても良いと思います（野原前理事長ご提案）。参考：「あーと・わの会」は会議室を持たず、会議が少ない会です。3ヶ月に1回の放談会は格好の情報伝達の間、コミュニケーションの間、出会いの間となります。情報交換、会話が足らぬと思われる方は二次会にも出席していただければ、本音をお聞きすることができるかも知れません。

- 8 **放談会担当** 第1～13回は事務局が担当、2008年第14回から、佐藤裕幸さんが日程、司会、場所の手配を長年担当され、事務局が記録担当。感謝申し上げます。**1**2012年第30、31回は出席者数が6名に急減、対策を実施しました。まず、放談会運営作業の分散を図りました。2013年第32回から鈴木忠男さんに書記担当、野口 勉さんに写真、記録担当として加わっていただきました。**2**2016年第45回放談会でお客様とのトラブルがあり、対策を実施しました。再開の2018年1月、第49回開催は野口 勉さん中心に推進。さらに2018年7月、第51回からは野口 勉さん、鈴木忠男さんから、井澤尚子さん（書記、写真撮影、放談会記録、HPへの掲載）、第52回から金子茂夫さん（場所選抜、司会、会の推進）に担当がバトンタッチされました。新しい担当金子茂夫さんからのメッセージです。

“下記は司会を担当する私自身の確認事項で、放談会に対する私の基本的な心構えだと思っております” ①放談会は内外問わずつねに開かれていること。②参加者は対等であり、相互尊重を旨とする会であること。③刺激的であるとともに、闊達で楽しい場であること。④発展的な情報交換・交歓の間であること。との方針が示されています。

井澤尚子さんから放談会に際し、毎回案内が出されています。

第56回放談会の例：◇ゲスト、お友達等お連れ下さい。今回持参作品のない方のご参加もお待ちしております。終了後二次会予定です。当日の放談会メモ用紙を添付いたしますのでご利用ください。ご記入後出席者分（約25～枚程度）をコピーの上ご持参お願いいたします。また、パソコンで作成される方や、コメント50～150文字、略歴100文字以上の場合は、終了後1週間以内にメールへの添付送付をお願いします。2020年6月からはコロナ禍ネット上放談会を開催。2022年2月からは事務局が担当することになっています。



第54回放談会 2019年4月20日 TKP池袋カンファレンスセンター（東京都豊島区）

左から 金子茂夫、宇都宮義文、井澤尚子、野口 勉、福田豊万、佐々木征、伊東總吉、横山俊樹、木村正子、中村 徹、木村悦雄、新井 博、鈴木正道、鈴木忠男、和田孝明、秋山 功、和田幸子（以上敬称略）

放談会の実績一覧(1/2)

会員敬称略・順不同

西暦	回	日時	場所	講話(お話)、ゲスト	出席者数	年平均	トピックス等	日程、司会、場所	写真	書記・編集	議事録制作
2021年		10月以降中断	～	～	～	～	～	堀良慶	堀良慶	～	～
2021年	62回	7月	ネット放談会	～	16名	～	ネット放談会	堀良慶	堀良慶	井澤尚子	HR、紙なし
2021年	61回	4月吉日	ネット放談会	～	19名	～	ネット放談会	(金子茂夫)	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2020年	60回	12月吉日	ネット放談会	～	18名	平均19名	ネット放談会	(金子茂夫)	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2020年	59回	10月吉日	ネット放談会	～	20名	～	ネット放談会	(金子茂夫)	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2020年	58回	6月20日(土)、21日(日)	ネット放談会	～	18名	～	ネット放談会	(金子茂夫)	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2020年	57回	1月26日(日)	TKP池袋	井澤尚子(防カビについて)、事務局(キャプション作成について)	19名	平均18名	ネット放談会	堀良慶、金子茂夫	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2019年	56回	10月27日(日)	TKP池袋	～	20名	～	～	金子茂夫	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2019年	55回	7月27日(土)	TKP上野	小講演 永津照見(1時間)、井澤尚子(10分)	14名	～	梅野記念鑑蔵友の会総会とダブル	金子茂夫	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2019年	54回	4月20日(土)	TKP池袋	～	20名	～	～	金子茂夫	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2019年	53回	1月20日(日)	TKP上野	ゲスト 中島由夫さん	24名	平均22名	～	金子茂夫	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2018年	52回	10月28日(日)	ルゾアール巣鴨	～	25名	～	～	金子茂夫	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2018年	51回	7月7日(土)	カンツァ(ホテルニューオータニ)	～	19名	～	口答アンケート実施	堀良慶	井澤尚子	井澤尚子	HR、紙なし
2018年	50回	4月14日(土)	ルゾアール巣鴨	講演 井澤尚子	20名	～	～	野口勉	野口勉	野口勉	HR、議事録
2018年	49回	1月20日(日)	東京セミナー学院	～	20名	平均20名	～	野口勉	野口勉	野口勉	野口勉
2017年	～	～	～	～	～	～	開催中止	～	～	～	～
2017年	～	～	～	～	～	～	開催中止	～	～	～	～
2017年	～	～	～	～	～	～	理事会で開催中止	～	～	～	～
2017年	48回	1月29日(日)	京橋区民館	～	14名	平均13名	～	佐藤裕幸	野口勉	鈴木忠男	HR、議事録
2016年	47回	10月9日(日)	京橋区民館	～	15名	～	～	～	～	～	野口勉
2016年	46回	7月29日(金)	京橋区民館	～	11名	～	ウイークデー、減	～	～	～	～
2016年	45回	4月29日(金・祝)	京橋区民館	ネット参加(上村真澄)ゲスト大森利佳さん、石田貞雄さん	19名	～	トランプ(ゲスト)	佐藤裕幸	野口勉	鈴木忠男	HR、議事録
2016年	44回	1月11日(月・祝)	京橋区民館	～	16名	平均16名	HPIに放談会記録掲載	～	～	～	野口勉
2015年	43回	10月24日(土)	京橋区民館	～	12名	～	HPIに放談会記録掲載	～	～	～	～
2015年	42回	7月20日(月・祝)	京橋区民館	ゲスト 和田孝明・幸子さんご夫妻、木村廣見さん	17名	～	HPIに放談会記録掲載	～	～	～	～
2015年	41回	4月29日(水・祝)	京橋区民館	『美術の窓』大澤景記者が取材	15名	～	HPIに放談会記録掲載	佐藤裕幸	野口勉	鈴木忠男	HR、議事録
2015年	40回	1月5日(月)	京橋区民館	～	11名	平均12名	ウイークデー、減	～	～	～	野口勉
2014年	39回	10月25日(土)	京橋区民館	～	11名	～	HPIに開催案内	～	～	～	～
2014年	38回	7月13日(日)	京橋区民館	講話 鈴木繁さん コレクション 70名の作家(著書)について	11名	～	HPIに開催案内	～	～	～	～
2014年	37回	4月29日(火・祝)	京橋区民館	講話 鈴木繁さん コレクション 70名の作家(著書)について	17名	～	HPIに開催案内	佐藤裕幸	野口勉	鈴木忠男	HR、議事録
2014年	36回	1月4日(土)	京橋区民館	講話 鈴木繁さん コレクション 70名の作家(著書)について	18名	平均14名	コメント事前提出	～	～	～	野口勉
2013年	35回	10月5日(土)	京橋区民館	～	12名	～	記録 予算10,000円/回	～	～	～	～
2013年	34回	7月21日(日)	京橋区民館	～	10名	～	HPIに開催案内	～	～	～	～
2013年	33回	3月31日(日)	京橋区民館	ゲスト 伊藤英一さん	10名	～	HPIに開催案内	佐藤裕幸	鈴木忠男、野口勉	鈴木忠男、野口勉	堀良慶
2013年	32回	1月14日(月・祝)	京橋区民館	ゲスト 太田算さん	11名	平均8名	対策実施	～	野口勉	福田、鈴木、野口	～
2012年	31回	10月28日(日)	京橋区民館	中井嘉文(練馬の作家について)	6名	～	～	～	太田貞雄	宇都宮義文	～
2012年	30回	7月15日(日)	京橋区民館	～	6名	～	京橋区民館スタート	～	鈴木忠男	鈴木忠男	～

放談会の実績一覧(2/2)

会員敬称略・順不同

西暦	回	日時	場所	講話(お話し)、ゲスト	出席者数	年平均	トピックス等	日程、司会、場所	写真	書記・編集	議事録制作
2012年	29回	4月22日(日)	アート・ロベ		11名			佐藤裕幸	鈴木忠男、太田貞雄	鈴木忠男	堀良慶
2012年	28回	1月22日(日)	ギャラリーアピアント	ゲスト 荒井雅美さん、中村美智子さん、磯貝延子さん	10名	平均12名		〃	鈴木忠男	〃	〃
2011年	27回	10月30日(日)	ギャラリー枝香庵	ゲスト 奥川暢宏さん、山中 現さん、高田真同さん	14名			〃	鈴木忠男、太田貞雄	〃	〃
2011年	26回	7月3日(日)	ギャラリーアピアント	ゲスト 小山美枝さん	14名		理事会併催	〃	〃	〃	〃
2011年	25回	5月1日(日)	ギャラリー枝香庵	ゲスト 中村哲夫さん、横山俊樹さん、宇都宮弘之さん	16名		理事会併催	佐藤裕幸	鈴木忠男	鈴木忠男	堀良慶
2011年	24回	1月16日(日)	ギャラリー川船	ゲスト 川原 敬さん、松田拓実さん(川原さんから紹介)	14名	平均17名		〃	〃	〃	〃
2010年	23回	10月31日(日)	埼玉県久喜市「心拓庵」	ゲスト 関根智之さん	23名		野原コレクション見学	〃	〃	〃	〃
2010年	22回	7月25日(日)	ギャラリー枝香庵	ゲスト 西村宣造さん、芦田和男さん	13名			〃	〃	〃	〃
2010年	21回	4月11日(日)	ギャラリー川船	ゲスト 4名	20名			佐藤裕幸	鈴木忠男、太田貞雄	鈴木忠男、太田貞雄	堀良慶
2010年	20回	1月24日(日)	千葉県千葉市木村邸	ゲスト みどり根子さん	18名	平均18名	アトリエ 一雙眼	〃	〃	堀良慶	堀良慶
2009年	19回	10月8日(日)	ギャラリー枝香庵	ゲスト 荒井よし枝さんご夫妻、佐藤京子さん、藤田さん	20名			〃	〃	〃	〃
2009年	18回	6月14日(日)	ギャラリーびへた	ゲスト 伊とうはるこさんご夫妻	12名			〃	〃	〃	〃
2009年	17回	3月8日(日)	ギャラリーびへた	ゲスト 中山昌美さん	12名			佐藤裕幸	〃	堀良慶	堀良慶
2009年	16回	1月11日(日)	野田哲也アトリエ	ゲスト 野田哲也さんご夫妻、堀 光江	15名	平均13名	野田哲也さん講演、アトリエ訪問	堀良慶	〃	〃	〃
2008年	15回	10月12日(日)	羽黒洞、会議室		12名			佐藤裕幸	〃	〃	〃
2008年	14回	6月1日(日)	ギャラリー内田		14名			佐藤裕幸	〃	堀良慶	堀良慶
2008年	13回	3月2日(日)	いのは画廊		20名	平均18名		堀良慶	〃	堀良慶	堀良慶
2007年	12回	11月4日(日)	ギャラリー内田	ゲスト 瀧迫 学さん、田代裕子さん	22名			〃	〃	〃	〃
2007年	11回	7月1日(日)	ギャラリー内田		17名			〃	〃	〃	〃
2007年	10回	3月4日(日)	いのは画廊	ゲスト 樋川公子さん	17名			堀良慶	〃	堀良慶	堀良慶
2006年	9回	11月5日(日)	ギャラリー内田		17名	平均17名		〃	〃	〃	〃
2006年	8回	7月2日(日)	いのは画廊		16名			〃	〃	〃	〃
2006年	7回	3月12日(日)	いのは画廊	ゲスト 北原 暁(ハツカサキ)、飯村 隆、太田 隆、佐藤 幸、佐藤 幸	19名			堀良慶	〃	堀良慶	堀良慶
2005年	6回	11月6日(日)	いのは画廊		20名	平均20名		〃	〃	〃	〃
2005年	5回	7月3日(日)	いのは画廊	ゲスト 笹木繁男さん、木原千春さん	20名			〃	〃	〃	〃
2005年	4回	3月6日(日)	いのは画廊	ゲスト 浅田正春さん	19名			堀良慶	〃	堀良慶	堀良慶
2004年	3回	11月7日(日)	いのは画廊	ゲスト 中丸美繪さん、浅田正春さん、山本冬彦さん	21名	平均19名		〃	〃	〃	〃
2004年	2回	7月4日(日)	いのは画廊	ゲスト 佐々木正裕さん	18名		佐々木正裕さん講演	〃	〃	〃	〃
2004年	1回	3月7日(日)	いのは画廊	野原会長挨拶 岩本 昭、梅野 隆出席	19名			堀良慶	〃	堀良慶	堀良慶
ゲスト		ゲストゼロ ゲスト出席回数 ゲストの方の入会		参考：2020年3月までのデータ ゲストの入会が多い							
				26回 39回 12名							





第8回放談会 2006年7月2日 いのは画廊（東京都千代田区）

左から 鈴木正道、佐々木征、福井豊、野原宏、岩本昭、鈴木忠男、内田久、川崎光草子、  
太田貞雄、福嶋誠二（以上敬称略）



放談会記録

## 11-(4) 広報・ホームページの開設と運営

〈広報・ホームページの概況〉 広報・ホームページ（以下、HP）ともに「あーと・わの会」発足以降、各事業、行事の立ち上げに忙しく、会の行事の中での立ち位置はさほど高くなく、理事長のご指示、理事会での決定のもと、事務局中心にささやかな広報活動（主に投げ込み投稿）を継続してきました。会員の「わたくし美術館」における広報活動は美術普及の武器であることの認識は各々開館時から重要視、活動されていました。その後、美術普及活動も活発化し、「あーと・わの会」では「わの会」コレクション展がスタートし、「放談会」には珍品の出品もあり、中にはマスコミが知ればニュースのネタになるような発表もありました。このような状況下、会員の皆さんのマスコミ登場実績は「あーと・わの会」発足当時は少なかったが、10年経過後は徐々に増え、数十件／年の掲載になっていました。又HPも猪羽恵一さんに立ち上げていただき、アクセス数も2桁（10～80件／日）程度にアップしてきました。その後、一時宇都宮リエさんが担当され、HPのリニューアルにトライしていただきました。

広報、HP活動が活発になってきたのはNPO取得の2010年から2年後、2012年『わの会の眼』発刊、2013年大きなニュースのネタがあり、担当を決めてからとなります。NPO取得で信用は高まり、広報のまたとないチャンスに広報担当、HP担当をおきました。マスコミ掲載実績は2018年373件、2019年693件、2020年277件です。1日当たりのHPアクセス数は、2015年390件だったのが、最近では2018年940件、2019年1,137件、2020年7～12月1,178件（概略ヒット、クリック数は24件／人、読者数は60人以上と思われます）に増加してきています。アクセス（クリック）数が1,000件／日を超える理由として①「わの会」コレクション展、②『わの会の眼』、③放談会、④コラムについて、画像・コメント・略歴の3つがセットで掲載されていることが魅力的であり、大きい。1画像はイメージ感機能を刺激し、2コメントは暗黙知が表出、3略歴は形式知、です。この3つがある①～④にアクセスが多い。2014年HPリニューアル、2015～16年「わの会」展と「わの会の眼」展開催、2018年HPにコラム欄新設、図書『わの会の眼』に続き『わの会の眼Ⅱ』の内容もHPに掲載、これらがアクセス増の契機になりました。趣味の会としては満足できるレベルであると思います。現在、広報は事務局、HPは上村真澄さんが担当しています。客観性を保つためチェック、モニター役として田村和司さんに新しく担当をお願いしています。

〈広報・マスコミ担当設置の目的〉 広報設置・HP開設の理由・目的は次の4点です。

**1** 会員の活性化（マスコミ掲載は、会員の活動、美術普及の勇気の源泉、オアシスとなります） **2** 「あーと・わの会」の活動を世に、美術界に知らしめる役割 **3** 公共性の向上 **4** 新入会員の確保

〈「あーと・わの会」の広報・HPの実態〉

**I 広報** ①会員の皆さんが各自実施する独自の広報、②「あーと・わの会」事務局が実施している投げ込み投稿、があります。事務局が行っている②の広報活動の主だったものを説明させていただきます。

### あーと・わの会の広報の定義

- 1 「広告」はメディアの枠をお金で買い、伝えたい情報をそのまま伝える。「わの会」コレクション展、「わの会」展、「わの会の眼」展、名品展で実施。
- 2 「広報」はメディアによる客観的な価値判断というフィルターを介して消費者に情報を提供する。手段としては、マスコミへの投げ込み投稿です。
- 3 これにネット上に「あーと・わの会」のHPが加わり、現在この3本柱で行われています。

**投げ込み投稿** マスコミ記事の原稿の元になる情報の提供活動です。実質掲載料金は不要です。「あーと・わの会」に関するマスコミ掲載実績は、広報担当（事務局）が年2、3回行っている投げ込み投稿によるものです。 **1** 「わの会」コレクション展 **2** 『わの会の眼』発刊 **3** 「わの会」展、「わの会の眼」展 **4** 『わの会の眼Ⅱ』発刊 **5** 名品展 **6** 総会、等の時に投げ込み投稿し、マスコミもお呼びしています（美術雑誌社2～3社が総会に毎回出席、情報を交換しています）。尚、放談会や会誌も紹介していますが取材は一度だけで、現在HPでの告知を実施しています。会員の皆さんが美術普及活動、企画展を開催される時、マスコミに掲載していただければそのような案件についてはアドバイスするよう心掛けています。



**II HP** HP 掲載内容は、殆どが会報に掲載された内容から選抜、ピックアップされます。「あーと・わの会」行事が主ですが、時には会員のコレクター活動、「あーと・わの会」会員の美術普及活動等のニュース性のあるトピックスも掲載されます。HP の項目別アクセス数がカウントされています (P.127)。アクセス数を紹介しているのは、どのような行事、項目に興味を持たれているか？ 客観的把握をし、行事運営の参考にするためです。経営指標でもあります。HP は、過去、猪羽恵一さん、宇都宮リエさんが担当され、現在は上村真澄さんに引き継がれています。2017 年度以降コツコツ HP はレベルアップし、現在では「あーと・わの会」の広告塔になっています。「わの会」コレクション展、「わの会」展、「わの会の眼」展、名品展、図書、放談会記録、コラム欄や貸出可能作品のデータベースを掲載。加えてアクセス数の多さから、多くの読者が集うアートの広場化（プラットホーム化）も視野に入ってきています。

HP のアドレス：<https://www.wa-nokai.org/> をご覧下さい。

〈マスコミからの取材〉 NPO 取得後、投げ込み投稿、HP への掲載もあり、マスコミより取材が増えてきていました。記者は取材前に「あーと・わの会」HP へアクセスし事前調査の上、連絡があります。その場合には、できる限り多くの方が登場できるように心掛けています。事務局への取材は 2012 年担当以降、丁寧にお断りしています。代わりに他の方の取材をお願いしています。マスコミからの「あーと・わの会」への取材は NPO 格の時は増加しましたが、NPO 返上後は少なくなると予想し、広報活動は HP に重点をシフトさせ、新しい試みを取り入れてきました。その結果、HP へのアクセス数は予想以上に増えてきており、HP の効果もすこぶる高くなってきているように思います。2019 年以降連続しての 1,000 件/日を超えるアクセス数（クリック数）は半端ではありません。

〈マスコミ掲載情報の紹介、カウント〉 マスコミ掲載情報は会員の皆さんから事務局へ寄せられたトピックスが元情報となります。件数は事務局で半期、期末に集計されています。会員の皆さんのマスコミ掲載情報をカウントする理由は、「あーと・わの会」の美術普及活動が世にどのように評価されているのか？ の客観的把握のためです。加えて皆さんから寄せられた美術雑誌・新聞・TV 情報、ネット検索による情報収集に加え、事務局で意識的に集めてきた情報も選別、ピックアップして会員に提供しています。

〈マスコミ掲載実績〉 広報担当を置いたのは 2013 年です。直近のマスコミ掲載（ネット上記事含）を見てみましょう (P.114)。2016 年の会員のマスコミ掲載実績は 121 件です。2017 年は 113 件、2018 年は 373 件、2019 年は 693 件です。マスコミに対して掲載可能な行事はコツコツと投げ込み投稿を継続しています。「あーと・わの会」の掲載ヒット率は NPO の時高く、任意団体を選挙後やコロナ禍ではブレーキがかかり、やや停滞傾向です。掲載件数の多さ、掲載ヒット率の高さは、NPO 取得後、『わの会の眼』発刊後に多く、実績の如くマスコミに信用がついたと判断しています。他の趣味の会やコレクターの会と比べれば、一目瞭然、格段に多いと思います。月刊『アートコレクターズ』の特集“コレクター拝見”に「あーと・わの会」の会員の登場が多いのは、記者が当会の HP を見て、選抜した結果です。過去取材は 10 名強の実績があります。谷 吉雄さんが通算 81 人目ですから、10%以上が「わの会」の会員です。5 人ほどは辞退されています。『月刊美術』も『ギャラリー』も当会にとっても好意的です。加えて日経新聞文化面への掲載実績もあります。朝日新聞の全国版にも「あーと・わの会」の活動が紹介されました。マスコミに信用ができてきています。名品展では美術雑誌社 4 社による公立美術館並みの扱いでの無料記事掲載（100 万円相当）が実現しました。

お世話になったマスコミ **I 美術雑誌社** 1『ギャラリー』本多隆彦、本多竜之介 2『美術の窓』佐久間智香子、大澤 景、中川正美 3『月刊美術』若林正臣、下川拓郎 **II 新聞社** 1朝日新聞 増田愛子、本田大次郎 2日本経済新聞社 窪田直子、野村義博 **III TV** NHK 豊田公作、熊田繁夫等（以上敬称略、順不同）です。

〈広報の費用〉 コピー代、画像プリント代、通信費等 1 万～2 万円/年程度と推定します。投げ込み投稿におけるコストパフォーマンスはとても高い。広報・HP の年間 1 人当たりの費用は約 571 円です（4 万円/70 人）。

## ホームページの項目別、年別アクセス数

項目	2013	2014	2015	2016・12 ～2017・5	2017・7 ～2018・5	2018・6 ～2019・5	2019・1 ～2019・12	2020・1 ～2020・6	2020・7 ～2020・12	2021・1 ～2021・12	敬称略
全ヒット数	7,501	6月	13,557	19,898	27,938	34,680	117,503	36,216	33,982	2020年～2022年初めは、 1,000件/日レベルで安定の様 様	D
1日当たりのヒット数	100	250	390	444	650	940	1,137	3,721	1,178	1,111	G

注意：DとBに差があるのは他の項目に加え、読者がHPの中であちこちクリック、遊んでいるようです

アクセス数はクリック数

件数/月	2016・12 ～2017・5	2017・7 ～2018・5	2018・6 ～2019・5	2019・1 ～2019・12	2020・1 ～2020・6	2020・7 ～2020・12	2021・1 ～2021・12	考察
1 TOP	1,102	775	1,084	1,243	1,179	1,583	1,952	着実に訪問者増加 微増
2 わたくし美術館へのお誘い	72	58	59	63	71	108	78	
3 アートを愛するコレクターの会	98	61	50	50	55	110	144	
4 あーと・わの会の活動	24	20	36	32	25	23	29	
5 あーと・わの会の紹介	19	23	89	85	49	50	60	
6 美術館の作り方	28	45	230	380	270	245	216	アクセス数増加、美術館会員も増、要改定
7 コレクション	101	46	37	94	68	171	84	
8 定款	44	35	13	11	13	19	8	
9 アーカイブ	44	40	43	44	51	79	59	
10 リンク	20	23	31	23	18	15	17	
11 企画展	30	34	57	50	31	45	39	
12 放談会	77	61	81	114	※ 8,231	140	105	要調 ※はイレギュラーと思われる
13 『わの会の眼』(再版)	85	62	58	98	2,804	96	79	急増は名品展延期の影響
14 『わの会の眼II』			53	160	34,509	95	1,059	急増は名品展延期の影響、外部要因
15 Aさんコラム			210	296	222	349	257	コラム欄は人気高い
16 Bさんコラム			300	494	457	824	733	コラム欄は人気高い
17 Cさんコラム			245	270	212	452	274	コラム欄は人気高い
18 Dさんコラム			69	64	63	78	78	コラム欄は人気高い
19 1,600名作家略歴						118	65	校正のため掲載停止
20 5,000名作家略歴						158(52)	158(52)	校正のため掲載停止
21 事務局コラム			51	41	44	78	57	中断(担当繁忙)
22 データベース			45	38	35	77	54	反応、実績少ない
計	1,744	1,283	2,841	3,650	48,517	4,571	5,489	2020年多いのは名品展(わの会の眼)が急増
参考 D÷E(件/人)	12件	26件	26件	28件	—	23件	17件	1人当たりのアクセス数(ただしTOP数ベース)
参考 G÷F(人/日)	37人	25人	35人	40人	—	61人	64人	訪問者数は25～64人/日と推定

考察 HPを訪れた読者数はTOPのアクセス数と各項目のアクセス数の計(B)が参考になります BにはTOPから入らずに項目からアクセスしているようです

1人の読者が「あーと・わの会」のHPの中の各項目に興味を持ち、アクセス(クリック)している

2019年度は1人の読者が30件ほどアクセス(クリック)しているようです。ただし、TOPのアクセス数を訪問者と仮定した場合

コラム欄、美術館の作り方のアクセス数の多さを見ると独自情報に魅力を感じているようです

注意：元データで明らかにイレギュラーと推定される分は削除



## 11-(5) 講演会

講演会は総会、放談会、コレクション展で開催されます。会員は平等です。客観性のある方、トピックスのある方を極力選抜することを心掛けています。演者数は累計57名（内部38名、外部19名。以下敬称略・順不同）です。

### I 総会の講演

- 1 予算の関係上、会員、会員外と交互に講演会実施。講演者：大川栄二（大川美術館）、梅野 隆 2回（東御市梅野記念絵画館）、植松竹二郎（JAA）、笹木繁男 2回（現代美術資料センター）、平園賢一、堀 良慶 2回、内藤瑤子、木村悦雄、安和朝忠、大竹永明、三澤一実（武蔵野美術大学教授）、田中千秋（ぎやらりい秋華洞）、秋山俊幸、三浦 徹、窪島誠一郎（信濃デッサン館）、瀬木慎一（美術評論家）、中村 徹、横山俊樹、小倉敬一、実川暢宏（元自由が丘画廊）、草薙奈津子（平塚市美術館）、荒井由泰、岡部昌幸（帝京大学教授）、高木巧治、荒井一章（不忍画廊）、辻本高廣、後藤洋明、金井徳重、山内舞子（ギャラリスト）、三好寛佳（三好企画）32名（外部11名）
- 2 担当は2018年7月より事務局から小倉敬一さんになりました。
- 3 講演者は皆さんからの提案、アンケート等を参考にその時期にあった方を予算見合いで相談の上決定しています。講演者は少なくとも6ヶ月、遅くとも3ヶ月前には選抜され、理事会等で承認されます。年末までに候補選抜、講演の可能性を相談し、翌年の2、3月開催の理事会で決定されます。
- 4 予算が窮屈な時は会員に講演をお願いしています。会員の講演者には申し訳ありませんが、交通費を含め講演料はありません。最近では大よそ外部、内部各々1年毎に交互に行われています。

### II 放談会の講演

- 1 放談会担当と事務局と相談の上、決定。小1時間の講演です。
- 2 講演者：中井嘉文、笹木繁男、井澤尚子、堀 良慶、中島由夫（作家）、永津照見、野原 宏、木村悦雄、野田哲也（版画家、東京藝術大学教授）、佐々木正裕（教師）、平園賢一、尾崎真人（平塚市美術館）14名（外部4名）

### III コレクション展の講演

- 1 コレクション担当、事務局が相談決定、理事会了承。
- 2 講演者：梅野 隆、ヨシダ・ヨシエ（美術評論家）、土方明司（平塚市美術館）、中井嘉文、笹木繁男 5名（外部2名）

### IV その他の講演

「わの会」展、「わの会の眼」展 講演者：中山真一（名古屋画廊）、岡部昌幸、御子柴大三〔ギャラリートーク〕、土方明司 4名（外部3名）

コレクション拝見 講演者：平園賢一、佐藤昭夫、木村悦雄、野原 宏 4名（外部0）

美楽舎と協同講演会開催 講演者：歌田真介（修復研究家、東京藝術大学名誉教授）1名（外部1名）

- V 2016年3月のアンケート結果（P.16）では講演者候補として、大倉 宏、笹木繁男、実川暢宏、山下裕二（美術評論家）、星野桂三等の提案がありました。

### 〈講演会に関するアンケート 2016年3月の結果〉

項目	小項目	満足度	満足	まあまあ	不足	参加数
講演会		A/(A+B+C)%	投稿件数A	投稿件数B	投稿件数C	会員数67+2名
コレクション展	講演会	94%	賛成30	外15内8	不要2	
放談会	講演（お話）	81%	29	0	7	
参考	総会全般	79%	26	7	0	

- VI 講演会の年間1人当たりの費用は約571円です（4万円／70人）。講演料は外部の方は3万～5万円です。内部・会員の方は交通費も含めボランティア講演となります。



総会 笹木繁男さん講演会 2012年5月 日本教育会館（東京都千代田区）

後列左より 平園賢一、荒井由泰、横山俊樹、中尾誠男、伊藤英一、佐々木征、鈴木裕士、秋山 功、小松富士男、福井 豊

中段左より 野口 勉、金井徳重、小倉敬一、安和朝忠、松尾陽作、鈴木正道、鈴木忠男、杉野和夫、木村悦雄、木村正子、金井節子

前列左より 田部井仁市、堀 光江、川崎光草子、笹木繁男、野原 宏、堀 良慶、中井嘉文、佐藤雅子、太田貞雄（以上敬称略）



総会 草薙奈津子さん（平塚市美術館館長）講演会 2014年6月 日本教育会館（東京都千代田区）

後列左より 金井徳重、大澤 景（『美術の窓』）、杉野和夫、中村 徹、伊藤英一、中尾誠男、畝 一雄、福井 豊、小倉敬一、鈴木正道、野口 勉、小松富士男、秋山 功、宇都宮義文、平園賢一

中段左より 太田貞雄、岡田千津、金井節子、伊東總吉、鈴木忠男、佐藤裕幸、松尾陽作、小川榮吉、堀 光江、川崎光草子、杉山恵子、田部井仁市、中井嘉文、堀 良慶、草薙奈津子、野原 宏、笹木繁男、実川暢宏（以上敬称略）

講演会実績 (総会、コレクション展、放談会)

西暦年	会員数 5月	総会			コレクション展			「わの会」展、「わの会の眼」展		コレクション		放談会	
		講演	場所	出席	講演	第○回、場所 名品展 (パレット柏)	講演	展覧会	コレクション 拝見	平均出席(名/回)	講演	平均出席(名/回)	
2021	68名	延期、中止 (辻本高廣 2022年に実施)	TKP	～	～	中止	中止 土方明司	パレット柏		コロナ禍中止			
2020	67名	中止 (後藤洋明〈梅野記念絵画館友の会〉)	中止	～	～	TKP	～	～		19名	井澤尚子、堀良慶		
2019	69名	荒井一章 (不忍画廊)	TKP	42名	～	TKP	～	～		18名	井澤尚子、永津照見 中島由夫 (作家)		
2018	72名	高木巧治	TKP	43名	～	TKP	～	～		22名	井澤尚子		
2017	72名	岡部昌幸 (帝京大学教授)	日教会	50名	～	日教会	「わの会の眼」展 (平塚美・梅野絵画)			20名			
2016	70名	堀良慶	日教会	30名	～	日教会	第11回 品川区民ギャラリー	梅野絵画		13名			
2015	71名	荒井由泰	日教会	33名	～	日教会	～	平塚美		16名	『美術の窓』取材		
2014	69名	草薙奈津子 (平塚市美術館館長)	日教会	33名	～	日教会	第10回 品川、まど、神戸わ			12名	笹木繁男		
2013	68名	小倉敬一、実川陽宏 (自由が丘画廊)	日教会	32名	～	日教会	第9回 アビ、ほく			14名			
2012	65名	笹木繁男 (現代美術資料センター)	日教会	28名	～	日教会	第8回 アビ、木更、ほく、まど	中山真一		8名	中井嘉文		
2011	65名	中村 徹、横山俊樹	日教会	31名	～	日教会	第7回 川船、ほく、アルトラ			12名			
2010	64名	瀬木慎一 (美術評論家)	日教会	36名	～	日教会	第6回 キッド、アルトラ			17名	野原 宏、木村悦雄		
2009	73名	窪島誠一郎 (信濃テッサン館)	日教会	32名	～	日教会	第5回 キョラリヤ KANI			18名	野田哲也 (東京藝術大学教授)		
2008	72名	秋山俊幸、三浦 徹	日教会	30名	～	日教会	第4回 キョラリヤ KANI			12名			
2007	65名	木村悦雄、安和朝忠、金井徳重、 三澤一実 (武蔵野美術大学教授)、田中千秋、 大竹永明、山内舞子 (キョラリスト)、 三好寛佳 (三好企画)	日教会	32名	～	日教会	第3回 キョラリヤ KANI			18名			
2006	60名	平園賢一、堀良慶、内藤瑤子	日教会	31名	～	日教会	絵画フェスタ (羽黒洞)			17名			
2005	54名	笹木繁男 (現代美術資料センター)	日教会	34名	～	日教会	第2回 松山庭園美術館			20名			
2004	46名	植松竹二郎 (元JAA代表)	日教会	27名	～	日教会	第1回 柏わたくし美術館			19名	佐々木正裕 (鑑賞教育)		
2003	30名	大川栄二 (大川美術館)、梅野隆 (梅野絵画)	日教会	29名	～	日教会	梅野コレクション展、摘水軒、柏わ美			19名	平園賢一、尾崎真人 (平塚市美術館)		
2002		発足準備委員会 10月31日	日教会	7名	～	日教会							
小計		32名 (外部11名)					5名 (外部2名)	2名 (外部1名)	4名 (外部0)		14名 (外部4名)		
合計		57名 (外部19名)		580名			2005年3月26日 歌田真介の講演会 美栄舎と合同で開催 30名 (会員13名出席)						
略称説明		日教会：	日本教育会館 レストラン 喜山倶楽部 (東京都千代田区)				アビ：						
		TKP：	TKPガーデンシティ御茶ノ水 (東京都千代田区)				ほく：						
		パレット柏：	柏市の市民ギャラリー (千葉県柏市)				木更：						
		平塚美：	平塚市美術館 (神奈川県平塚市)				川船：						
		梅野絵画：	東御市梅野記念絵画館・ふれあい館 (長野県東御市)				アルトラ：						
		梅野コレクション展：	梅野記念絵画館コレクション				キッド：						
		品川：	品川区民ギャラリー (東京都品川区)				柏わ美：						
		まど：	アートミュージアム・まど (長野県中野市)				摘水軒：						
		神戸わ：	神戸わたくし美術館 (兵庫県神戸市)										



# 11-(6) 会員の著作・資料

会員の著作・資料 (1/3)				敬称略・順不同	
図書名	著者	出版	寄贈	制作年	市販
110 かがみの近代美術館「生きた証を見つめて」SINCE2018	辻本高廣	かがみの近代美術館	辻本高廣	2022年	
109 鞍狂老人のアートコラム集Ⅰ・Ⅱ	佐々木征	自作	佐々木征	2022年5月	
108 松戸の美術100年史	松戸市教育委員会・田中典子	松戸市教育委員会	田中典子	2011年11月	
107 高木 俱作品集	高木 俱	裾野アートハウス	水口英男	2009年	
106 戦後空白期の美術	瀬木慎一	思潮社	瀬木慎一	1996年	3,107円/冊 (税別)
105 コノキ・ミクオの詩と造形(ガンダ)	コノキ・ミクオ	ギャラリーステーション	此木紀子	2021年	定価2,200円/冊
104 エコール・ド・パリから100年(2021～2022年)	清水あつし	シエイクスピア・ギャラリー	清水篤	2021年	300円/冊
103 第16回SEKIアートクラブ松山作品展資料、中野和高、水木伸一、斉藤輝昭	ISEKIアートクラブ松山	ISEKIアートクラブ松山	宇都宮義文	2021年	各3,700円/冊 (税別)
102 青山義雄画集Ⅰ、Ⅱ	青山義雄画集編集委員会	青幻舎	井澤尚子	2017年	
101 内田九一の江戸城新発見写真	清水あつし	シエイクスピア・ギャラリー	清水篤	2020年	
100 初期写真で読み解く江戸城	野中和夫、清水あつし	シエイクスピア・ギャラリー	清水篤	2021年	
99 遺稿「テウバウ」と「暗愚」追悼/回想文集	北川太一	文治堂書店	佐々木憲三	2021年	1,500円/冊 (税別)
98 美学社 マイ・コレクション展 第2、3、5回	美学社 (現美楽舎)	美学社	松尾陽作	1993、94、96年	非売
97 水上民平画集 花・香響	水上民平	水上民平画集刊行会	金井徳重	1988年	9,800円
96 日本芸術院会員五人展	茨城県近代美術館	印象社	金井徳重	2018年	
95 斎藤秀雄の生涯 嬉遊曲、鳴りやまず	中丸美繪	新潮文庫	阿部真也	2002年	667円/冊
94 板倉 鼎・須美子書簡集	松戸市教育委員会 田中典子	松戸市教育委員会	水谷嘉弘	2020年	定価4,300円/冊
93 続 雙軒庵美術集成図録	九州電気軌道株式会社	東京美術倶楽部	水口英男	1933年(昭和8年)	珍本
92 彫刻家 田嶋碩朗	山崎貞子	共同文化社	佐々木征	2016年	3,000円/冊 (税別)
91 公益財団法人興風会 九十年史、CD	公益財団法人興風会	公益財団法人興風会	佐々木征	2021年	非売
90 江戸の幟旗 庶民の願い、絵師の技	渋谷区立松濤美術館	ニューカラー写真印刷	鈴木忠男	2009年	
89 松戸神社神楽殿の絵画と修復展	松戸市教育委員会	松戸市教育委員会	田中典子	2017年	
88 構造社展 昭和初期彫刻の鬼才たち	宇都宮美術館	キュレイターズ	田中典子	2005年	
87 山口蒼輪展	公益財団法人八十二文化財団	公益財団法人八十二文化財団		2017年	
86 学芸員が作った 津山城の本	津山郷土博物館	津山朝日新聞印刷部	高木巧治	2015年	800円/冊
85 六角堂再建の軌跡	茨城新聞社	茨城大学	茨城大学	2014年	
84 見目陽一の世界 木口木版画	見目陽一	下野新聞社	山根康社	1999年	7,500円/冊
83 戸嶋靖昌：恩師と友人たち	田中孝一	清澄画廊	山根康社	2012年	3,000円/冊
82 一角獣の変身 青木画廊クロニクル 1961-2016	青木画廊	風濤社	伊とうはるこ	2017年	2,800円/冊 (税別)
81 村上肥出画集：愛すべき天才画家	池田 章	村上肥出夫の会	中村儀介	2016年	
80 アート市民たち	アートNPO推進ネットワーク	アートNPO推進ネットワーク	山下透	2007年	非売
79 福井の小コレクター 運動とアートフル勝山の歩み 一中上光雄・陽子コレクションによる一	西村直樹 荒井由泰	福井県立美術館	荒井由泰	2015年	
78 卒論 国立・公立博物館の戦争展示とメッセージ	小山美枝	NHK放送大学	小山美枝	2008年	貸出は本人要確認
77 伊とうはるこ 2005、2008年 画集	伊とうはるこ	伊とうはるこ	伊とうはるこ	2008年	
76 福嶋誠二作品集	福嶋誠二	福嶋誠二	福嶋誠二	2012年	非売
75 絵と出会う 美術館を訪ねて	上野ミチ子	朝日新聞出版	上野ミチ子	1998年	1,650円/冊 (税込)
74 うたがき完結集	畝久女	畝一雄	畝一雄	2016年	

## 会員の著作・資料 (2/3)

	図書名	著者	出版	寄贈	制作年	市販
73	中村順二画集『大空をキャンバスに』	中村順二	ごま書房	中村 勝	2003年	2,000円/冊 (税別)
72	光的力 隠地 妙銅版画	上海美術館	TTC	隠地 妙	2012年	
71	隠地 妙の仕事 1985～2012	隠地 妙	TTC	隠地 妙	2012年	
70	デッサン	徳永卓磨	交友プランニングセンター	徳永幸子	2005年	
69	カンボ・デ・クリプターナの人びと	徳永幸子	交友プランニングセンター	徳永幸子	2012年	
68	MEMORY 油彩画と紙芝居	徳永幸子	あさい編集部	徳永幸子	2019年	
67	2008年ポレットガルの思い出 画集	川崎光草子	川崎光草子	川崎光草子	2008年	
66	月刊雑誌『小さな書』連載 絵のある待合室	平園コレクションが連載	小さな書	平園賢一	2014年～現在	定価762円/冊 (税別)
65	句集 俄、唄、練、興	中井嘉文	中井嘉文	中井嘉文	2016年	
64	練馬アトリエ村と周辺の人びとその後	中井嘉文	中井嘉文	中井嘉文	2014年	
63	藤田彌治と練馬アトリエ村の今井ロジンと江古田小竹町	練馬区医師会	中井嘉文	中井嘉文	2012年	
62	練馬にもあったアトリエ村	中井嘉文	練馬区医師会雑誌掲載	中井嘉文	2010年	
61	『彩雲』3号～14号		彩雲の会	増田一郎	2010年	1,000円/冊
60	よみがえる画家 板倉 鼎・須美子	松戸市教育委員会社会教育課美術館準備室	松戸市教育委員会	田中典子	2015年	
59	続々・私の本もの美術館 秋山 功コレクション	秋山 功	秋山 功	秋山 功	2020年	
58	続・私の本もの美術館 秋山 功コレクション	秋山 功	秋山 功	秋山 功	2018年	
57	私の本もの美術館 絵画蒐集余話	秋山 功	三好企画	秋山 功	2012年	定価2,000円/冊 (税別)
56	虹の十字架 今野満利子ステンドグラスの世界	実川暢宏		実川暢宏	2020年	非売
55	静岡県立美術館紀要 第25号 平成21年度	静岡県立美術館	静岡県立美術館	実川暢宏	2010年	
54	現代美術 夢のつづき	実川暢宏・安福信二・寺田 侑	冬書社	実川暢宏	2017年	1,500円/冊 (税別)
53	現代美術 夢 むだ話	実川暢宏・寺田 侑	冬書社	実川暢宏	2010年	1,500円/冊 (税別)
52	宮脇晴 作品集	中山真一	名古屋画廊	中山真一	2001年	
51	遠山清 作品集	中山真一	名古屋画廊	中山真一	2005年	
50	鬼頭鍋三郎 作品集	中山とし子	名古屋画廊	中山真一	1999年	
49	中谷 泰 作品集	中山とし子	名古屋画廊	中山真一	2000年	
48	大澤海蔵 作品集	中山とし子	名古屋画廊	中山真一	2000年	
47	赤塚一三 作品集	中山真一	名古屋画廊	中山真一	2008年	
46	愛知洋画壇物語PART II	中山真一	風媒社	中山真一	2016年	1,500円/冊 (税別)
45	愛知洋画壇物語	中山真一	風媒社	中山真一	2011年	800円/冊 (税別)
44	画廊とともに60年 忘れえぬ10人の画家たち	中山とし子	風媒社	中山真一	2007年	800円/冊 (税別)
43	秋山俊也 日光アール・ブリュット 創造の根源を求めて	小杉放庵記念日光美術館	小杉放庵記念日光美術館	秋山俊幸	2006年	
42	相原求一朗の軌跡 生誕100年 歿後20年	相原求一朗生誕100年記念プロジェクト・川越市立美術館	相原求一朗生誕100年記念プロジェクト・川越市立美術館	新井 博	2018年	
41	わたしの相原求一朗 II 一点展	新井 博等	美術年鑑社	新井 博	2013年	
40	わたしの相原求一朗 一点展	実行委員会	実行委員会	新井 博	2009年	
39	山口長男・脇田和展 A氏コレクションより	大川美術館	大川美術館	新井 博	2006年	
38	コノキ・ミク才展 変化と試みの画家	此木三紅大	東御市梅野記念絵画館・ふれあい館	此木紀子	2009年	500円/冊 (税込)

## 会員の著作・資料(3/3)

	図書名	著者	出版	寄贈	制作年	市販
37	コノキ・ミクオの彫刻	此木三紅大	松山庭園美術館	此木紀子	2009年	
36	少年は猫をかいだ	此木三紅大	松山庭園美術館	此木紀子	2015年	
35	コノキ・ミクオ詩集 猫屋敷	此木三紅大	松山庭園美術館	此木紀子	2013年	880円/冊(税込)
34	画文集 アトリエの茶席	此木三九男	ダイセイコー	此木紀子	1986年	定価2,000円/冊
33	金子周次展 潮騒に愛をこめて 開館五周年記念	松山庭園美術館	松山庭園美術館	此木紀子	2003年	
32	少年・コノキ展 此木三紅大の1950年代の油彩画など100点	松山庭園美術館	松山庭園美術館	此木紀子	2008年	
31	ガンダの詩：此木三紅大の彫刻	レオナルド社	松山庭園美術館	此木紀子	2005年	5,000円/冊(税込)
30	此木三紅大の世界	那須高原私の美術館	レオナルド社	此木紀子	1998年	2,500円/冊(税込)
29	東京都中野区野方での展覧会記録	堀田晃久	三好企画	堀田晃久	2008年	1,000円/冊
28	甦る画家たち 主として東海地方の	堀晃	中日出版社	堀田晃久	2001年	1,980円/冊(税込)
27	忘れえぬ美術家たち 私の蒐集遍歴余話	堀田晃久	三好企画	堀田晃久	2005年	1,980円/冊(税込)
26	小島廣志：木に呼ばれる	武蔵野市立吉祥寺美術館	武蔵野市立吉祥寺美術館	堀田晃久	2019年	
25	明治の彫塑(毎日出版文化賞受賞)	中村傳三郎	文彩社	中村 徹	1991年	4,000円/冊(税別)
24	中村 徹コレクション・中村傳三郎生誕100年記念	中村 徹	ギャラリーゴトウ	中村 徹	2016年	
23	中村傳三郎美術評論集成	中村傳三郎(著)、藤井明(編集)	国書刊行会	中村 徹	2018年	27,000円/冊(税別)
22	所蔵作品撰 摘水軒記念文化振興財団	公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団	公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団	寺嶋哲生	2009年	
21	満州の洋画家・三井良太郎(1890～1937)年譜	福井 豊	福井 豊	福井 豊	2004年	
20	小倉敬一コレクションII	小倉敬一	小倉敬一	小倉敬一	2004年	
19	小倉敬一コレクション	小倉敬一	小倉敬一	小倉敬一	2002年	
18	タカハシノブオ 三浦徹コレクション 生誕100年記念	坂上義太郎・三國麻衣子	BBプラザ美術館	三浦 徹	2014年	
17	絵と出あう	上野ミチオ			1998年8月	
16	六角堂再建の軌跡	茨城新聞社	茨城大学	茨城大学	2014年	
15	板倉 鼎 その芸術と生涯	板倉弘子	三好企画	堀 良慶	2004年9月	1,800円/冊(税別)
14	柏わたくし美術館 所蔵品100選	堀 良慶	アポロ社	堀 良慶	2000年11月	非売
13	ドキュメント 戦後美術の断面	笹木繁男		事務局	2015年1月	
12	ドキュメント 中村正義の生涯	笹木繁男		事務局	2011年9月	
11	あるサラリーマン・コレクションの軌跡	周南市美術博物館	「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会	事務局	2003年	
10	木村悦雄・正子コレクション	木村悦雄		事務局	2002年3月	
9	コレクターの眼展 中村文俊コレクション	中村文俊		事務局	2001年7月	
8	続 わたし流美術館	岩本 昭	三好企画	事務局	1997年7月	
7	わたし流美術館	岩本 昭	三好企画	事務局	1993年11月	
6	美神の森にて	梅野 隆	西田書店	事務局	1992年12月	
5	美の狩人	梅野 隆	西田書店	事務局	1986年8月	
4	『わの会の眼II』	会員	あーと・わの会	あーと・わの会	2017年6月	
3	『わの会の眼』初版	会員	あーと・わの会	あーと・わの会	2012年6月	
2	「わの会」コレクション展 第1回～11回	会員	あーと・わの会	事務局	2004年8月～	
1	会誌 第1号～75号	会員	あーと・わの会	事務局	2003年5月～	



## 11-(7) 寄付・表彰

寄付金は一般的な NPO 組織では会費に次ぐ収入源で 10～20%です。「あーと・わの会」も同様に、会費に続き重要な通年収入源で平均 14%です。2015 年以降は年平均 17 万円、収入の比率で 25%と増加傾向です。

野原前理事長より発足当初より毎年いただいている寄付 3 万円は大変貴重な資金源でした。どんなに助かったか？ はかり知れません。最近では他の会員、外部の方からの寄付が自然的に発生して、運営上とても助かっています。P.136 でその内容をご紹介しますが、寄付に多寡はありません。

〈寄付金〉2003 年～2014 年は、野原 宏さんの寄付が主で、平均 3.8 万円/年でした。寄付の増加は 2010 年 NPO 法人格取得での信用アップがベースとなり、その後、平塚市美術館での「わの会」展の成功以降、2015 年 31.8 万円、2016 年 9.5 万円、2017 年 14 万円、2018 年 5 万円、2019 年 18.6 万円、2020 年 16 万円、2021 年 42.3 万円となっています。

本格的寄付が始まった源は、2015～16 年の平塚市美術館での「わの会」展の成功が突破口になっているように思っています。この成功によって、会内部（特に会員）、会外部（美術界）の信頼を勝ち得たのです。特に、2015 年 U さんによる多額の寄付金が「あーと・わの会」における寄付のきっかけになっています。この寄付金があったからこそ、組織改革（NPO の返上閉鎖費用 24 万円）もできました。

その後、鈴木正道さんや実川暢宏さんら多くの方々からも多額の寄付金が寄せられ、コラム、略歴の HP 掲載もできました。寄付金は主に重点行事、新規事業に使用させていただいております。

パレット 柏で開催予定だった「名品展」は 2020 年 3 月から 2021 年 8 月へコロナ感染拡大に伴い延期されました。この追加費用にも充てられました。寄付は前もって予算には計上されませんが、都度、期中に予算に組み込まれ有効に使用させていただいております。

2019 年には U さんよりコレクションの寄贈があり、U 氏基金として、『「あーと・わの会」20 年のあゆみ』制作、画家 5,500 名の略歴辞典にも使用されています。又、此木紀子さんからの作品を通じた間接的な寄付は、『「あーと・わの会」20 年のあゆみ』の制作費に充てられます。

〈一般的な寄付〉寄付やボランティア活動に対する評価、尊敬は先進国、欧米では高く、寄付文化、ボランティア文化として深く根付いています。その影響を受け日本においても着実に根付きつつあります。

寄付は、アメリカでは 23 兆円/年、日本は 2,000 億円/年で 1/100 です。アメリカでは貧しい者に施す伝統的なキリスト教の教えがあり、収入の 1/10 の寄付をされると言われています。これは「文化の違い」ですが、一方「税金の制度の違い」は寄付すれば税金免除が厚い。又「フィランソピー」という組織立った寄付もあります。大金持ちの寄付「寄付宣言者」は世界で 174 名いますが日本人はゼロです。一方、日本は戦後の特殊事情から「政府でもない、企業でもない、第 3 の領域」が学校法人、社会福祉法人、公益財団法人、公益社団法人、NPO 法人等の「法人格」で分断されています。縦割りの所管省庁によって強く干渉されたり、法人格別に全く異なるものとしてイメージされています。「第 3 の領域」全体のイメージが湧きにくい国であることも要因です。寄付者に寄り添った公益活動のあり方を考える必要があります。日本に根強く残る巨額寄付者性悪説、寄付は売名行為と思うような文化面からの脱却も必要です。

私が 45 年ほど前に住んでいたアメリカ・ロサンゼルス市では何か行事があるときはごく普通にドネーション（寄付）が行われます。この行為、習慣は教会で毎日曜日のミサの時行われるドネーションからきており、これが寄付のベース、文化だと思えます。

寄付、ボランティアは自発的なもの、志願です。日本ではまだまだボランティア文化、寄付文化の本質が理解されず、繊細です。本来、尊敬や感謝に値するものです。

何の見返りも求めず、利他行として寄付をされ、自腹、手作り、出前でボランティア活動をしている担当もお見えになります。欧米のボランティア、寄付に関する理解、事情も違います。このことへの理解と応援、尊敬をお願い致します。ボランティア、寄付に強制は似合わないことをご理解下さい。

寄付を受け取る時は、三銭という金の尊さを知って千万貫という金を受け取り、寄付をする者は三銭を寄付するつもりで一万円を寄付する気持ちがあると良いと言われています。

〈東日本大震災義援金〉2011年NPO法人あーと・わの会は寄付を集め東日本大震災義援金・岡倉天心記念六角堂等復興基金に寄付を実施しました。2011年6月9日、水戸の阿部真也さんが「あーと・わの会」を代表して茨城大学教育学部・小泉晋弥教授（茨城大学五浦美術文化研究所副所長）に11万4,000円の目録を手交されました。寄付は13名、「あーと・わの会」から3万円。義援金は六角堂の再建に使用。六角堂は五浦地区の復興のシンボルとして、震災の1年後には再建が進められています。

2012年4月17日六角堂の竣工式に「あーと・わの会」の宇都宮義文さんが参列、茨城県天心記念五浦美術館はそれに先立って2011年11月1日に再開されました。2019年に茨城大学五浦美術文化研究所に岡倉天心記念六角堂復興基金寄附者プレートが設置され、特定非営利法人あーと・わの会の会 野原宏の名がプレートの最上段に刻まれています。

### 〈表彰〉

表彰は、此木紀子さんのご提案です。“一生懸命活動された方を表彰・顕彰することによって大きく会は活性化する、その効果・パフォーマンスはとても高い” “あーと・わの会でも表彰制度の導入を推薦したい”

理事長のご指示のもと、即座にご提案を受け入れ、実行させていただきました。特にこれといったルールを設けずに理事会がある度に、自然発生的に提案され、決定されてゆきました。辞退される方も2、3名お見えになりました。表彰は表彰状と金一封です（金一封はその年の資金事情で若干変動、1万～3万円です）。表彰状の文言は、元教育長・小松富士男さんをお願い致しました。

表彰は2010年から始まり、岩本 昭さん、梅野 隆さん、笹木繁男さん、中井嘉文さん、三浦 徹さん、鈴木正道さん、川崎光草子さん、野原 宏さんが表彰されています。

外部、国、県、市等の行政による表彰についても、事務局に伝えられてきた方をP.136表にリストアップさせていただきました。中には掲載を辞退された方もお見えになります。

## 11-(8) U氏コレクションの寄贈について

『「あーと・わの会」20年のあゆみ』ができたのは、Uさんの基金のお陰です。2019年暮れ、Uさんから突然、“Kわたくし美術館にコレクションを寄贈したい”と電話連絡があり、丁度、事務局では「あーと・わの会」の「行事概要」がまとまり、5000名作家略歴の原稿ができ上がりつつある頃で、新旧理事長にご相談して、Kわたくし美術館はこれを受け入れ、U氏基金として利用させていただくことをUさんにご相談、了解を得て、理事会、総会で承認されました。神様が本当にいるのだと心底思いました。「行事概要」はその後、平園理事長のご指示のもと、『「あーと・わの会」20年のあゆみ』の元資料として利用、制作費にU氏基金を利用させていただいています。感謝、感謝です。



U氏コレクション展 懇親会  
2021年8月8日  
ギャラリー アピアント（東京都墨田区）  
左から右回りに  
お客様、野原喜子、野原 宏、薄井良昭、  
川崎光草子、堀 光江（以上敬称略）

## 寄付・表彰

敬称略・順不同

西暦	寄付者		金額		寄付 その1		金額		計	表彰		表彰	
	金額	寄付者	金額	寄付者	金額	寄付者	金額	寄付者		野原 宏	外部	野原 宏	外部
2021	50,000円	野原 宏	100,000円	平園賢一	10,000円	中尾誠男	10,000円	中尾誠男	423,000円	野原 宏	三浦 徹	紺綵褒章	兵庫陶芸美術館寄贈
	3,000円	小倉敬一	100,000円	野原 宏	50,000円	水谷嘉弘	50,000円	水谷嘉弘		野原 宏	木村悦雄	紺綵褒章	目黒区美術館寄贈
			100,000円	堀 良慶	10,000円	宇都宮義文	10,000円	宇都宮義文		野原 宏	三浦 徹	紺綵褒章	神戸市
2020	100,000円	鈴木正道	10,000円	中尾誠男	10,000円	水谷嘉弘	10,000円	水谷嘉弘	160,000円	野原 宏	野原 宏	木雨賞	北海道近代美術館 2016年寄贈
	30,000円	伊東總吉	10,000円	小沢菜那	10,000円	薄井良昭	『わの会の眼II』12冊寄贈	薄井良昭		木村悦雄	中山真一	紺綵褒章	梅野記念絵画館友の会
2019	100,000円	鈴木正道	3,000円	笹木繁男	3,000円	歌代雄七	10,000円	歌代雄七	186,000円	川崎光草子	野原 宏	木雨賞	梅野記念絵画館友の会
	50,000円	実川暢宏	3,000円	中山真一	10,000円					鈴木正道	平園賢一	木雨賞	
	30,000円	野原 宏	10,000円	中尾誠男						三浦 徹	中山真一	第4回木雨賞	梅野記念絵画館友の会
2018	10,000円	宇都宮義文	10,000円	書籍プロへ					50,000円	野原 宏	高木巧治	紺綵褒章	勝央美術館寄贈
	10,000円	宇都宮義文	10,000円	総会へ						三浦 徹	高木巧治	紺綵褒章	
2017	30,000円	野原 宏	30,000円	中井嘉文	30,000円	中尾誠男	10,000円	中尾誠男	140,000円	野原 宏	倉沢紀武	紺綵褒章	東御市梅野記念絵画館・ふれあい館
	10,000円	笹木繁男	10,000円	堀 良慶	30,000円	『わの会の眼II』	中山ゆかり、斉藤博美へのプレゼント (謝礼)	堀 良慶		中井嘉文	三浦 徹	紺綵褒章	
2016	30,000円	平園賢一	30,000円	中井嘉文	30,000円	中井嘉文	30,000円	中井嘉文	95,000円	中井嘉文	倉沢紀武	紺綵褒章	
	30,000円	野原 宏	30,000円	笹木繁男	5,000円	伊藤英一	6,000円	伊藤英一		中井嘉文	三浦 徹	紺綵褒章	
2015	100,000円	匿名(U氏)	10,000円	鈴木正道	10,000円	橋本昌也	10,000円	中井嘉文	318,000円	野原 宏	増田一郎	紺綵褒章	創作小説部門
	20,000円	平園賢一	20,000円	橋本昌也	10,000円	堀 良慶	20,000円	堀 良慶		野原 宏	倉沢紀武	紺綵褒章	
2014	20,000円	野原 宏	20,000円	笹木繁男	2,000円				30,000円	野原 宏	倉沢紀武	紺綵褒章	東御市梅野記念絵画館・ふれあい館
	10,000円	三浦 昭	10,000円	←外部						野原 宏	倉沢紀武	紺綵褒章	
2013	30,000円	野原 宏	30,000円						40,000円	野原 宏			
	10,000円	薄井良昭	10,000円	清水栄子	3,000円	←外部				野原 宏			
2012	30,000円	野原 宏	30,000円						38,000円	野原 宏	三浦 徹	紺綵褒章	神戸長田文化賞特別賞
	5,000円	中村 徹	5,000円							野原 宏	三浦 徹	紺綵褒章	
2011	10,000円	野原 宏	10,000円						20,000円	野原 宏	梅野隆	紺綵褒章	
	10,000円	野原 宏	10,000円							野原 宏	梅野隆	紺綵褒章	
2010	20,000円	野原 宏	20,000円						20,000円	野原 宏	岩本昭	紺綵褒章	
	20,000円	野原 宏	20,000円							野原 宏	岩本昭	紺綵褒章	
2009	30,000円	野原 宏	30,000円						50,000円	野原 宏			
	20,000円	野原 宏	20,000円							野原 宏			
2008	20,000円	野原 宏	20,000円						20,000円	野原 宏			
	20,000円	野原 宏	20,000円							野原 宏			
2006	60,000円	野原 宏	60,000円						150,000円	野原 宏			
	90,000円	梅水軒記念文化振興財団	90,000円	会誌制作費						野原 宏			
2004	50,000円	野原 宏	50,000円	野原 宏	プロのカメラマン撮影代50,000円	堀田昇久2,000円			182,000円	野原 宏			
	120,000円	梅水軒記念文化振興財団	120,000円	会誌制作費	野原 宏からコレクション展に梱包資材等寄付10,000円					野原 宏			
2003	30,000円	野原 宏	30,000円	野原 宏	あーと・わの会の会館のロゴ制作代30,000円				120,000円	補助金 (参考)	補助金	梅野記念絵画コレクション展・柏わたくし美術館交換展に 梅水軒記念文化振興財団から200,000円の補助金	
	90,000円	梅水軒記念文化振興財団	90,000円	会誌制作費						野原 宏			
計										2,042,000円			

計 2,042,000円

その他 新井博、中村儀介、上村真澄からカレンダーを寄贈。堀 良慶より切手約50,000円分が寄贈、通信に使用  
画集・資料の寄贈 三浦 徹、秋山 功、福井 豊、中山真一、中井嘉文、此本紀子から会員に寄贈

## あーと・わの会による寄付

西暦	金額	寄付者
2011	114,000円	東日本大震災義援金・岡倉天心記念六角堂等復興基金 114,000円 (野原 宏20,000円、阿部真也10,000円、堀 良慶10,000円、ギャラリー一校香庵・荒井よし枝32,000円、安和朝忠1,000円、太田貞雄1,000円、鈴木忠男1,000円、 金井徳重2,000円、川崎光草子1,000円、三浦 徹3,000円、福井 豊1,000円、伊とうはるこ1,000円、鈴木正道1,000円、あーと・わの会30,000円)



## 11-(9) レクリエーション

2004年4月頃(?) お花見 不忍池、千鳥ヶ淵(東京)。不忍画廊、羽黒洞経由(2画廊にお世話になりました)。事務局企画、13名参加

2008年頃 ダンスパーティー サッシペレレ(東京都新宿区)。宇都宮リエさんが紹介、10名参加

2019年3月 美術鑑賞 日本民藝館、東京都庭園美術館。鈴木忠男さんが企画担当、4名参加

レクリエーションは2018年より鈴木忠男さんが担当されています。



レクリエーション お花見 不忍池、千鳥ヶ淵(東京) 2004年4月頃(?)

後列左から 堀切善男、堀良慶、福井豊、小松富士男、野原宏、佐々木征、鈴木正道、福田豊万、伊東總吉  
前列左から 宇都宮義文、川崎光草子、清水栄子、杉山恵子(以上敬称略)

## 12 その他の組織運営

### 12-(1) 会計、監事、総務

- 1 経験深い専門の方々に会計、監事、総務をご担当いただいています。
- 2 会計は任意団体、NPOでは事務局とともに最も重要な仕事です(趣味の会、NPO、任意団体では事務局と会計にしっかりした担当を置くことがポイントだと言われています)。
- 3 過去の会計担当は小倉敬一さん、川崎光草子さん、佐々木征さん、鈴木正道さんです。2018年6月にNPO返上、任意団体を選択し、7月1日に「あーと・わの会」が発足、NPOが抹消されNPO担当が不要となりました(NPO会計・事業報告等が負担でした)。
- 4 現在の会計担当は鈴木正道さんです。経理全般にわたり、NPO法人では複式簿記やNPO法に基づく会計報告が必要でした。国(法務局)、千葉県のNPO窓口(県庁文化課)、柏市税務署、総務省関係の減免申請、NPOデータ作成等、外部折衝も含め様々な実務ができる専門家です。鈴木さんにご事情あって、NPO及び会計の退任を希望されていますが代わる方が見当たらず、現在事務局の堀光江さんに実務の一部をお手伝いいただいています。予算を実行する事務局とお金を扱う者(会計補助)が同じ事務局に存在することになります。事故等が発生せぬよう対策として、予算が年80万円程度の小規模な会ですが①過去、一時期、監事を2名置き、監事の監督のもと、事故、間違いが無いように体制を敷いています。②現在は半年に一度、会計による帳簿、現金、バランス試算(中間決算)が行われ、チェックが実施されています。チェックされた内容は会報に中間決算として掲載されています。

- 5 2018年の組織改革により人事権は理事長に、人事情報は理事長と事務局に集約しています。会報で入会者、新規担当等の情報はお伝えしますが、退会、退会理由、担当人事の理由等の人事情報は載せておりません。今後も行いません。又人事に関することはお伝えできない場合があります。過去の大半の人事は責任を持って理事長、事務局で処理させていただき、理事会に報告、承認をいただいております。
- 6 現、新組織にいたるまで、総務、人事担当は明確には置いておりません。組織のラインで行われています。経験豊富でご専門の立場から宇都宮義文さんに必要に応じてご相談し、ご指摘、ご指導いただいております。
- 7 会計の年間1人当たりの費用は約710円です（5万円／70人）。
- 8 監事は会計、経理のベテラン専門家佐々木征さん、大所高所から事業を見られる小松富士男さんが担当されておりました。2018年7月には小松さんから薄井良昭さんに交代しています。監事、総務担当による活動により会の経営をサポートされ正常化が図られています。監事の職務は会則第15条4項（P.154）をご参照下さい。監事に理事の監督権があるのが特徴です。
- 9 監事、総務の活動は殆どボランティアで自前、自腹で行われて経営コストに計上されていません。
- 10 〈年会費、出品料等の支払いについてのおお願い〉年会費、出品料等の支払い期限を守るようお願い致します。「あーと・わの会」は年会費、出品料等で運営されている資金的に零細の組織です。会費を払わぬ方は会員ではありません。是非、期限までに納金していただきますようお願い致します。毎年、毎回納金遅れがありますと余分な作業、費用が掛かります。これが重なると担当の意欲を損ねます。会計は入金を確認するため記帳をします。郵便局、銀行が遠い場合でも都度出かける必要があります。新しい会則では、年会費の納入は年度始めより2ヶ月以内（6月30日まで）となります。はがきと電話で催促後、7月末を期限とし、未納の方は会報停止、退会となります（組織変更や口座変更は、会計、事務局に負担を掛けます。ご協力下さい）。どこの趣味の会でも滞納、遅納者がいて関係者は対応に時間を取られています。

## 12-(2) 会議

当会は会議室を持たない、在宅勤務のリモートワーク組織です。コミュニケーション手段はメール・電話・手紙です。会議は貸会議室TKP（以下、TKP）、喫茶室ルノアール（以下、ルノアール）を利用しています。Zoom等のオンラインは不使用です（理由は、高齢者の多い会で、**1**オンライン機器の整備、**2**ノウハウの習得、**3**使用場所や環境の整備に予算、時間を要するからです。又オンライン使用者、不使用者において不平等の発生が懸念され、零細組織である当会では、時期尚早、継続審議事項です。ただし、事務局において部分使用を考え、準備は整えています）。

### 1 「あーと・わの会」の会議

- ① 理事会 年2回、臨時理事会 参加者：理事、監事 場所：ルノアール
- ② 総会 年1回、臨時総会 参加者：会員全員、理事、監事 場所：TKP
- ③ わたくし美術館会議 必要の都度実施
- ④ 放談会 年4回 場所：ルノアール、TKP  
実行委員会 放談会時に事務局からの連絡事項、報告、相談。加えて実行委員会として必要の都度10分ほど時間をいただいております
- ⑤ 事業、会計監査 年1回 参加者：理事長、監事、会計、会計補助者、事務局長
- ⑥ 「わの会」コレクション展等企画展の各種会議、パーティーも含む
- ⑦ 各担当者の会議 必要の都度実施
- ⑧ 『わの会の眼』、『わの会の眼Ⅱ』のプロジェクト会議 必要の都度実施
- ⑨ 総会、理事会、放談会、コレクション展の写真撮影、事業、会計監査等の後に行われる懇親会の時に、各種ご相談し、ご意見をいただいております。又新しい事業のご相談もさせていただきます
- ⑩ 上記①～⑨に加え、画集制作打合せ、担当交代時引き継ぎ打合せ等、必要最小限の会議開催

- ⑪ 零細組織の「あーと・わの会」にとって会議費用の節約努力が不可欠です。尚、必要不可欠な会議費は理事会、総会で承認され、必要最小限の予算を確保しています

## 2 会議の工夫

- ① 行事のある時、必要に応じ、事前に、喫茶店やレストランで集まり、打合せを実施します。加えて懇親会を利用して連絡、相談する回数が増えています。そのような時の喫茶経費は常識判断で行われますが、個人払い（自腹）が殆どとご理解下さい。
- ② 費用が掛からないのは千葉県柏市の事務局、各担当のプライベートな居室です。事務局は経理打合せ、事業、会計監査、名品展のパレット柏との打合せ、会員の訪問、入会者との面談、担当との打合せ、相談等に使用されています。交通の便は東京に比べ悪く、会議が行われるのは少ないです。
- ③ 会議室の利用 TKP、ルノアール利用が増加。放談会も予算確保でき次第、京橋区民館からTKP、ルノアールを利用。総会、理事会の会場も日本教育会館からTKPに切り替え、新しく、会議室多く、便も良く人気です。2015年度は平塚市美術館、東御市梅野記念絵画館の会議室をお借りして理事会、わたくし美術館会議を開催。
- ④ 会議室を持たないのは、メール使用、リモートワークの浸透、趣味の会で必ずしも会議を必要としていないからです。会議の開催の優先順位は高くありません。
- ⑤ 「あーと・わの会」は当初より資産を持たぬ組織です。会議室も持たぬよう、又何時でも容易に解散できる体制を敷いています。

## 3 当会は会議室の無い、在宅勤務のリモートワーク組織です

会の運営はリモートワークが中心になっています。担当の皆さんは基本的には在宅勤務です。大半がメール、電話、手紙でコミュニケーションが図られています。事務局は勿論、上記の如く会計監査等に使用されていますが、打合せ、会議、行事の多くは東京の貸会議室（TKP、ルノアール）を借りて実施されています。

## 4 会議が一般組織より少ない対策

オフィスを持たず、会議費も必要最小限とする必要があり、会議は少なくなります。ルーチンワークでは流れの中での決断や実行が良い場合が多い。行政や企業、一般組織では関係者が出席し、会議は定期的に関かれ、又不定期開催の会議も多く、予算も確保されていますが、趣味の会「あーと・わの会」ではこのようなことは実質できず、行っておりません。自然と流れの中で都度決断してゆくケースが多くなっています。その理由は幾つかあります。

- ① ルーチンワークにおいては流れの中での決断の方が会議体中心よりコストパフォーマンスが高い傾向にあります。一旦会議によって動きを止め、再開することに、タイミングのズレ、合意形成を優先するあまり先送りが多くなる等の傾向が潜んでいます。日本の一時期の大企業病の原因がこの会議の多さにも現れていると思います。
- ② 問題点を常に意識し、対策、工夫を常に考え続けている担当の流れの中での決断は間違いが少ない。過去の実績からも実感できます。会議で一旦すべてを止め賛成多数で決定するスタイルより、会議のタイミングまでの時差によるチャンスの喪失、間違い、手直しが少ない傾向にあります。加えて“即時に実行でき”“タイミングを失しない”“先送りしない”メリットもあります。会議では全ての方の合意形成自体容易ではありません。極力、担当に任せて、サポートいただくようお願い致します。
- ③ オフィスを持たず、必要最小限の予算を取り実施されています。会議費の予算を潤沢に取る余裕がありません。
- ④ 当会は趣味の会、ボランティア組織です。担当は首都圏在住者が多いですが、度々、担当が集まることは、現役、本業をお持ちの方には負担となり、零細組織で予算手当も難しく、会議の多くが個人負担となります。会議が多くなれば負担増となります。必要最小限の会議にせざるをえな



いのです。

## 5 独断専行のブレーキ

会議が少なく、流れの中での決断が常習化すると、独断専行の懸念が存在、顕在してゆきます。年会費1万円の零細組織ですが独断専行のブレーキも必要です。

- ① 意識して隠すことなく、会報に早め早めに詳しく情報を提供し、コミュニケーション不足に対応しています。新規行事、事業も早め早めに、時間を取って会報に事前情報を掲載しています。
- ② 重要案件は必ず、理事長に報告、連絡、相談、決定されています。独断専行を避けています。
- ③ 重要案件は必ず、理事会、総会で事前、事後に了解を取るようになっています。重要案件には多くの予算が付随するので、予算処置には理事長の指示、理事会、総会で事前、事後に承認が必要です。これでブレーキがかかります。
- ④ 『「あーと・わの会」20年のあゆみ』の元になった「行事概要」もこの趣旨に添い、皆さんに隠すことなく提供しています。
- ⑤ 一時期、監事を2名置いたのも理事、担当、事務局の独断専行の監視目的にあります。
- ⑥ 過去、独断専行による過度な問題発生はなかったように思います。

## 6 在宅作業の実態

リモートワークと問題の内在の例を、ホームページ（HP）で説明致します。HPの更新は事務局が作った情報、会報を見て（機能）、担当の上村真澄さんが掲載記事（機能）を選抜掲載（行動）する。この間の情報伝達はネット、メールで行われ、HPの更新作業（行動）は上村さんが宮崎県のご自宅で行っています。

機能は統合しますが、行動は自由です。会議は必要最小限に止め、電話もしないので通信費も節約されます。2018年5月発足のコラムチームも同様で、一度も会議は開催されていません。

注意すべきはリモートワークの欠点であるコミュニケーション不足です。オフィスがあれば人とのコミュニケーションは容易であり、一目で人の健康状態さえわかります。人とのコミュニケーションが充分取れないことを認識することがとても大切です。コミュニケーション不足を防ぐにはネット、メールで丁寧な説明、問題提議と慎重な行動が必要になります。一方、ネット、メールではつい、言葉が走り過ぎ、熱く反応する等の欠点にも注意、配慮が必要です。コミュニケーション不足やネット、メールでの起こりやすい問題点に良い解決方法はさほど多くありませんが、ボランティア活動をされている方への深い理解と尊敬が少なくとも必要だと思っています。

当会は**在宅勤務**を余儀なくされています。昨今のコロナ禍、一般組織ではテレワーク中心に在宅勤務を取り入れており、その結果はケース・バイ・ケースで、もう少し効果の調査が必要です。在宅勤務のパフォーマンスも計測されており、職務満足度は上昇、離職意志とストレスが低下した報告もあります。オフィス勤務はコミュニケーション、クリエイティビティ面でも長く工夫されてきたシステムであることを認識すべきだと思います。在宅勤務の欠点を認識し、対策することも大切です。オンラインによるテレワークは理事会、放談会等部分的導入を検討、準備を整えてきてはいますが、冒頭の理由で理事長のご指示、理事会の決定もあり行っていません。

## 12-(3) 事務局

**1 事務局は会則の定めで理事長の指名によって担当につきます。**理事長は会の基本方針を示し、その方針、計画、目標に従い実行、推進、達成してゆく者を事務局長に任命します。加えて必要に応じ事務局員を任命します。事務局人事は理事、会員が選抜するのではなく、理事長が任命します。以下、解説します。

- ① 会の指示系統、指示組織はフラットにされており屋上屋を架さないように工夫されています。サンプルに理事長から理事、担当への指示系統となります（注意：会則の定めで理事長が忙しい場合は、理事長指示で副理事長がその任、理事長代行に当たります）。

- ② 事務局長は理事長から指示された特命事項以外は、参謀役であり、担当、理事のサポート役です。
- ③ 事務局に不適格等の事案、問題の存在、発生があれば、責任は事務局長本人に加え事務局長の上司、任命者、監督権のある理事長にもあります。理事長にご相談するのが良いと思います。理事の監督権がある監事にご相談いただく手もありますが、事務局長への方針、指示は理事長から行われ、人事権は理事長にあります。

## 2 事務局担当項目（理事長指示事項の推進、事務局の専任事項）

- ① 会報制作、発行、対外窓口、会の内外のクレーム処理、広報（投げ込み投稿、取材窓口）、入退会に関する事項、会員数の増減等の調整手続き、新入会員・新任担当の教育（説明や案内）、アンケート、HPのチェック、コレクション展のフォロー、総会及び理事会会議の開催手続き実行推進（講演会、表彰）、わたくし美術館会議等会議の開催推進、各パーティー等イベント企画、理事長人事のフォロー、会員からの問い合わせ回答、提案処理、会誌のテーマ提案、行事組織間の調整、評価基準検討、評価データの蓄積、会計とともに**1**期別予算作成、**2**期別事業計画作成、**3**決算、**4**事業報告、『わの会の眼』書籍プロジェクト実務、図書の販売管理（コレクション展画集の販売、在庫管理、出荷業務、請求作業等含む）、寄贈図書・資料の管理、新規事業の計画・実行、各事業・行事を「行事概要」にまとめマニュアル化、各担当の情報取りまとめ、会員活動状況・美術界情報を収集分類、選抜き会報に掲載。会員は皆平等の基本方針に従っています。
- ② 理事長特命事項の推進 例示：20周年記念行事の募集、準備、体制整備、推進等。
- ③ 経営のサポート **1**各事業の問題課題提議（マンネリ化、ワンパターン化、作り込み過ぎ、参加者の固定化現象）と対策 **2**ボランティア活動の活性化と阻害因子の明確化 **3**理念、ミッション、ビジョン策定 **4**新規事業の提案と推進 **5**過度な批判、分断意図の言動、先の不安を過度に煽るような、会に混乱を与えそうな要因は検討の上対策。
- ④ 各行事の担当サポート 会誌、放談会、「わの会」コレクション展、書籍プロジェクト、HP、会計、監事、総務担当理事のサポート。特に担当が交代時、立ち上がり期のフォローは大切。

## 3 担当募集：常に募集しています。

**1**事務局長含め行事の各担当 **2**図書の出荷、在庫管理（お金の回収は会計） **3**外部の寄付、補助金担当 **4**200文字、画家5,500名の略歴制作、校正、データ加工 **5**事務局含めボランティアの各担当 **6**新規事業の場合は3ヶ月～2年かけて実行計画、募集 **7**貸出可能作品のデータベース募集 **8**「わたくし美術館」チーム、「わたくし美術館」コラム計画推進、現在「わたくし美術館会議」に成長、集約中 **9**美術情報、趣味の会運営関係情報、新聞・雑誌、切り抜き担当 **10**20周年記念行事として『「あーと・わの会」20年のあゆみ』の制作が理事長よりご指示あり、募集済。計画から実行段階に、2023年4月完成。**11**新規事業のご提案がありましたら事務局へご一報、ご相談下さい。新規事業は、組織運営へ刺激、マンネリ防止対策上、不可欠だと思います。

**4 事務局担当について** 発足以来19年目の堀 良慶さんが事務局長の任に当たっています。直近では2021年5月より、新理事長の指名によって事務局長に再任、後継者が見当たらず、毎回2、3年を限度として引き受けています。会では様々起こる多くの事案、指摘、不満、特に動議を通じ、潜む本音さえ明確になります。傲慢にならず謙虚に受け入れるようにしています。

## 12-(4) NPO

### 〈2010年8月NPO法人格取得〉

#### 目的

- 1 一般会社組織を採り入れ、組織活動の向上・質のレベルアップで事業の安定化を図ること。
- 2 市民への行事の開放拡大を図ること（NPOでは市、県、国に提出する様々な資料により、一般組織に必要なレベルを要します。又組織運営のノウハウを得ることができます。例えばNPO定款には数々

のNPOのノウハウが詰まっています)。

- 3 会の信用はNPO格取得でアップする。NPOの一般的なメリットです。
- 4 会の内部に継続的に発生していた批判、特に定性的批判に加え、細部にわたる間違い指摘があり、一つずつ対応するとともに、アンケート等でも対応してきましたが、収まることなく、NPOに踏み切りました。NPOでは事業計画、実績報告等の数値が公表されます。この数値により、質問、批判に定量的な回答ができるようになり、一般組織運営がスムーズに行われます。一方で事業計画、実績報告等の作業が負担になる負の面があることは、当初より耳に入っておりわかっていました。

## NPO格取得

NPO格取得には太田貞雄さん中心のNPO法人設立準備委員会が2008年5月に設置。ほぼ2年をかけ取得に至っています。同委員会は太田貞雄さん、佐々木征さん、宇都宮義文さん(監事)、堀良慶さん(事務局)、野原宏さん(会長)、鈴木正道さん(会計)、川崎光草子さんのメンバー。実質、太田貞雄さんがリーダーで推進。定款はレベルの高い評価を受けています。太田さんにご事情があり、その後、鈴木さんが引き継ぎ、NPO窓口を担当されました。

## NPO格取得の結果、効果

- 1 NPO格取得後「あーと・わの会」の各事業に充実、質の向上が明確に現れてきています。
- 2 美術普及活動において、画廊、わたくし美術館に加え、コレクターが勇気を出して、一步、歩を進めています。コレクション展、美術普及活動の実績を蓄積されています。実績は、言葉に加え極力数値化を実施してきました。
- 3 市民へのサービス(参加者数、入館者数)も推定で数値化を図ってきています。2015年3万人、2016年は特別な行事も重なり、その数は5万人を超えています。一方で過度なデータ主義は負担となるため避けています。必要最低限にとどめています。
- 4 NPO取得の初期の目的である、レベルアップと信用の確保を実現しています。
- 5 任意団体の頃にあった間違い指摘について：NPO組織で世に露出されることにより客観的にチェックされ、立ち位置がガラス張りになってゆきました。組織における必要レベルはNPO下において確認され、現在の「あーと・わの会」にも存在することが確認されています。
- 6 NPO格取得前には会(運営、行事)にマンネリが忍び寄り、マンネリ防止にNPOの利用の目的もありました。

## NPOの不都合な事柄の解決

**1** NPOは趣味のサークルとは違い、継続的な事業として、社会問題の解決を目的に活動する民間の非営利組織です。公益的な活動を目指しており、趣味の会に公益性を重視したNPOの役割を強要すると歪みが発生することが徐々にわかりました。**2** NPOの目的の一つにNPO下での質の向上がありますが、意識しすぎると行事の“作り込み過ぎ”現象が現れてきました。**3** NPO下でも同じようにマンネリ現象は散見。**4** 高齢化下、NPO維持に関する種々な手続き作業が重荷、問題化してきていました。**5** NPO下では会則の縛りがあり、何かを決める時、手続きが不可欠です。NPO法会計、人事の縛り、入会者を制限できず、負担になっていました。絵画を楽しむ趣味の会と公益性を求めるNPOとのギャップがあり、公益性に重点を置くと重荷になります。急ぐと歪みが発生してきます。その解決として更なる自由度の向上を模索して、理事会、総会の承認を経て、2018年NPO格返上、任意団体「あーと・わの会」を選択しました。適度の公益性を求めることにハンドルを切ったのです。

## 2018年NPO格返上の効果

**1** 作り込み過ぎ現象は急がず対応。**2** NPOの制約から解放されました。**3** NPOで美術普及等の数値化が行われてきたが、任意団体でも最低限の数値化を継続してまとめてきており、これが定性的批判対策に効果的になっていました。**4** NPO返上で信用ダウンが懸念されましたが、結果は①マスコミ掲載件数はアップ ②HPアクセス数はアップ ③寄付金は継続 ④会員数は2019年維持、2020年はコロナ影



響もあり漸減 ⑤一方でわたくし美術館会員増 ⑥批判件数は減少傾向 **5** NPO から任意団体への組織変更で、行事に及ぼす影響はさほどないことを確認。**6** マンネリ対策に重点を置き、数値化等の効果で批判は減少してゆきました。**7** 理事長の方針“ワイガヤの楽しい会”の推進を心掛けてきました。NPO という冠を戴かなくとも、充分に会は活動できていることも証明され、会は自由で制約を受けない。(認定 NPO を検討していた時、KO さんより負担増の問題指摘を受け) NPO 等の冠には多くの制約があり、当会の如き趣味の会には荷物になり、似合わないことが明確になりました。

## NPO や任意団体の特徴

行政、企業、画廊、美術館、美術評論家、美術大学、デパート、マスコミ等の美術ヒエラルキーに属するような陽の当たる組織ではなく、どちらかと言えば日陰の組織、領域です。日陰の組織、領域には未開発な領域が広がっています。考え方次第、極端ですが無人荒野に行くが如しです。特にコトについては大きな展開の可能性を秘めています。行政、美術ヒエラルキーでは様々な制約がありますが、NPO や任意団体は自由でのびやかです。競争相手、強敵もいません。例えば **1** コレクター、「わたくし美術館」の活動は実に自由でのびやかです。**2** 会員の皆さんで『わの会の眼Ⅱ』を発刊し、公立美術館で企画展を開催、海外の美術館に同書を贈ることもできました。**3** 『わの会の眼Ⅱ』の全作品の画像、会員のコラムを HP に掲載しています。

一つのコトをすると又次のコトが生まれてドンドン広がる現象は、未開発領域の証左であり、質の良い事業活動も潜在しています。現在の「あーと・わの会」が置かれたポジションにチャンスは大きく広がって、将来に向け広がりのある活動であることを示しています。加えて「コト」から「トキ」の上手い活用も広がってきています。

## 一般的な任意団体・NPO の特性・機能と「あーと・わの会」

任意団体・NPO の特性：自由性、先駆性、迅速性、柔軟性、多元性

文化任意団体・NPO の特性：独創性、普遍性

任意団体・NPO の機能：社会の統制力、統合力を突き破る力

任意団体・NPO の特徴：ニッチで活躍（埋もれた作家の企画展等）、異議申し立て（発掘、顕彰等）、価格破壊（コレクションを利用し安価に企画展開催等）

加えて、「あーと・わの会」は、企業や行政ではできない組織サービスを提供する新たな担い手としても期待されています。特に飽和した「モノ」（コレクション）からパラダイムシフトし、「コト」（美術普及活動）という価値の意識を持つと良いと思います。

「モノ」の事例 コレクターのコレクションが「モノ」に当たります。絵を楽しむことができます。自己満足ができます。

「コト」の事例 「わの会」コレクション展、『わの会の眼』の発刊、企画展が「コト」に当たります。“見せたがり屋さん”には認められることも期待でき、自己満足、楽しめます。他に影響を与えることも可能です。

「トキ」の事例 放談会等は、絵という「モノ」から、皆で作品の紹介という「コト」を行い、加えて皆で作品を楽しむ「トキ」を手に入れつつあります。一時集まりうんと盛り上がり、楽しみ解散する「トキ」を楽しむのです。

特に「わたくし美術館」運動は自分のコレクションを直接市民に問う行動であり、上に示した特性、機能のほぼ全てを有しています。

Global is local, Local is global と言ったのはユニクロの柳井 正さんです。地域の、コレクターの、「わたくし美術館」の一見、日陰、ニッチに見える行動が、ローカルからグローバルになる可能性を秘めています。ユニクロはローカル企業からグローバル企業になった成功事例です。

## 12-(5) 組織改革

ボランティア組織には改革が不可欠です。2010 年 8 月任意団体から NPO 格を取得、NPO 法人あーと・

わの会として改革してきています。その後、2018年7月1日、NPO格を返上し、任意団体を選択しています。加えて若返り人事も実施されています。影響は会員数が若干名減（高齢、病等の理由）。行事への参加数も変わらず、組織変更、若返り人事が会、行事の運営に大きく影響を与えてはいない。これは会員の皆さんの選択、協力、努力そして先輩諸氏のサポートの結果です。新旧理事長は2018、2019年に行われた組織変更と人事において実に非凡な手腕を発揮されました。

少し詳しくお伝えします。組織変更と若返り人事は急がず、2017年から1年以上を掛けて準備されました。2018、19年に組織、行事、人事改革の検討が実施され、新しい組織、人事にスムーズに移動、申し送りされてきました。理事長は2018年6月野原理事長から平園理事長にバトンタッチされています。

2018、19年組織変更と人事において、理事長、事務局長だけではなく、ベテラン理事、監事からも退任希望がありました。各理事にも高齢化が押し寄せ、等しく不健康年齢に突入してきています。病と高齢化に伴う機能の低下、特にやる気の低下があります。老害現象も時に顕在化してきます。

ボランティア組織であることの深い理解が必要です。ボランティア活動への感謝、ボランティア活動をされている方への尊敬、そしてお手伝いです。

組織改革の主な内容：2018～19年に組織改革、大幅な人事変更が行われています。1負担のかかるNPO格返上、任意団体を選択 2担当、理事の交代、若返り人事 3行事の重点化、作業の見直し 4特定者への作業集中の分散及び軽減、特に事務局作業の分散 5担当への謝礼の増加、できる範囲で 6行事事業の概要（当レポート）の作成 7入会に追加条件を設けています（NPOでは入会に制限ができないが任意団体はできます）

## 組織改革と若返り人事の報告

2019年5月、組織改革、若返り人事が進行してきています。

経験、実力共に重量級の理事、担当から、新しい理事、担当の定着には先輩理事からの引き継ぎ、工夫、時間を要します。皆素人です。温かい目で見守り、サポートして下さい。特に本業を持ち、とても忙しい方が見えます。皆さんボランティア活動です。改革の後に間もなく揺り戻しの波があることも注意が必要です。

今回の組織改革、人事改革（若返り人事）のポイントについて観点を改めて見てみましょう。

- I 組織運営に当たり、柔軟に小グループを尊重する。同時にワンチームも意識する。グループ間の平等、バランスに注意する。グループ間に差別が出ないように、競合が強くならぬよう、時間を掛けて平等、公正、情報の透明化を図っていく。理解を深める努力を図る。特定グループを差別しないことです。純粋な集まり、組織は良い面もあるが時に脆いものです。
- II 不確実を無くす組織作り。未整備、未開発な行事を明確化、組織化、充実化することで、組織が持続可能となります。環境の変化（高齢化、美術不況、物故作家作品の価格下落、物故作家コレクター減等）に伴い不確実が増す。この不確実を無くす組織作りが組織を生き延びさせます。  
〈組織の見直し、活性化、充実化の例〉1講演会担当、レクレーション担当を新設 2 NPOと任意団体の利害得失の比較見直し、取捨選択 3行事の重点化と充実化、過負荷行事の解消 4「わの会」コレクション展の毎年開催の見直し、『わの会の眼II』の発刊と企画展への促進 5新任理事、担当用として「行事概要」の作成 6特定者（特に事務局）への作業集中の分散、理事全員が担当 7理事、担当の高齢化対策（若返り）。経験、知恵のスムーズな申し送りが不可欠です 8会の実力、魅力は個々の行事にあります 9問題のチェック、公正のチェック、コンプレイン対策、新規事業取り入れ
- III 美術市場、美術普及活動の多様性の対応には組織の中での多様性の体制で対応する。適時に新規事業を加えてゆく。プロジェクトやチーム制の導入、新しい仕事に柔軟な組織を設ける。例示：1書籍プロジェクト（『わの会の眼II』発刊、企画展） 2美術普及のインフラ整備（200文字作家略歴チーム等） 3コラムチーム（埋もれた作家の発掘顕彰、市民への紹介） 4わたくし美術館会議（仮称。「わたくし美術館運動」の活性化） 5異色人材の起用。安定、停滞している組織に刺激を与える。例示：顧問として「あーと・わの会」を新しい世界に導いてくれる力のある方3名を選ばせていただいています。笹木繁男さん、実川暢宏さん、中尾誠男さんです。

IV 新たな任意団体の主な会則について 2018年7月1日理事長、理事が中心となり、合意、制定された「あーと・わの会の会則」(P.153～、NPOの定款から変更された内容)：会則では入会者に、会の目的、理念を認識、了承すること。社会一般常識を持ち、①会員同士の批判 ②会の批判 ③他会員の所蔵作品批判は抑制、批判は常識レベルで自制すること。NPOの定款を見直し、シンプルに理事長に権限を集約して理事長判断で理事や担当を任命、解任できるようにしています。

#### V 組織改革と若返り人事の3年後

大きな組織改革や大幅な人事変更があった場合、直後そして3年間ほどは揺り戻し(反動)があるものです。注意深くウオッチしてきました。2018年7月組織改革と若返り人事が行われ、既に3年以上経過しています。コロナ禍という試練を乗り越え、行事参加者数、美術普及活動、会員数等の数値はやや漸減傾向ですが、なんとか乗り切ったようです。

新旧両理事長のご指導と、新旧理事、担当そして会員皆さんのご努力、ご協力があったからです。ボランティアの趣味の会は必ず壁にブチ当たると言われています。その時の行うべき事柄は改革です。未達であれば又改革に取り込むことが必要ではないかと思えます。今回の改革も一応形は付いたものの新旧理事長の思い描かれた目標には正直不十分だと認識しています。事務局の若返りも未達です。当『「あーと・わの会」20年のあゆみ』についても将来改革の参考になると思い制作しています。

## 12-(6) 会員数

### 会員数と収入

現在「あーと・わの会」の収入は会費と寄付です。会費と20%前後の寄付で予算80万円程度の零細組織です。組織活動には資金が必要です。資金を得るには信用が元になります。信用ができると会員数が増え、会費収入が増え資金ができます。組織活動ができ、行事が盛んになり実績ができると信用がアップして規模が大きくなってゆきます。いつの間にか寄付も発生し、しかるべき活動が皆に認知されてゆくと寄付は徐々に多くなってゆきます。信用の向上には実績、継続が必要です。趣味の会でも信用が元です。何が大切なのか？ 一つ一つの行事がとても大切です。一つ一つの行事が充実してゆくことによって信用ができます。参考：信用の元は志、道徳、常識(常識には智慧、情愛、意思のバランス・調和と均等な成長が必要です。他者に納得してもらうにはロジック(智慧)が必要です。同時に感情(情愛)面での納得が必要です。加えて何がしたいのかという意味が必要です)そして公益です。(渋沢栄一)

**1 会員数についての現状** 一般組織の資金、売り上げ、利益にあたるのが会費と寄付です。会費、寄付が事業推進に影響します。会員の確保は収入に直結し、会員数は売上や利益に当たると考えて良いでしょう。趣味の会での重要な経営指標の一つは会員数です。どこの趣味の会でも会員が減り続ければ、元気がなくなり、解散に向かいます。**1** 会員が少ないと参加者が少なく、資金不足だと行事が少なく、行事が充実しないと魅力がなくなります。**2** 一方会員が多いと組織運営、行事が多くなり、ボランティア活動が辛くなります。(例示：会報、会誌制作担当の意見を主に参考にしています。手作業が多く制作するのに限界)。バランスが必要です。この8年間は、ほぼ64～72名で推移、目標にしています。18年間の経験から75名を超えると会報、会誌制作者に無理が生じてきます。75名を超えないように注意しています。会員数30名と70名という規模の違いは行事の数、内容に大きな影響を与えます。そのことをよく把握する必要があります。30名の会員では現在の行事は半分以下になります。

**2 直近11年間の会員数のコントロール** コントロール目標64～72名。2011年65名、2012年65名、2013年68名、2014年69名、2015年71名、2016年70名、2017年72名、2018年72名、2019年69名、2020年67名、2021年69名。毎年3～5名退会、3～5名入会です。特に「あーと・わの会」の活動の充実拡大、マスコミ掲載増、HPは会員数の安定に寄与。新入会者が極端に多くなったり、少なくなったりすることは過去ありません。漸増、漸減です。急増減は避けてきています。会員の急増は対応が大変で避けています。65名以下では行事に影響してきます。一方、100名を超える会員数には注意、人材そ



して専任も必要です。事前準備が不可欠です。現体制では困難です（拡大には要所要所に人材確保が必要となり、組織の変更も必要です）。会員数の漸増、漸減が対応しやすく、現体制では65～75名前後で会員数は落ち着き理想的な状態ではないかと思います。

**3 会員数の維持（持続）は 1 楽しいこと 2 マンネリにならぬこと 3 会員ファースト、会員の利益を優先すること 4 社会貢献を考えると 5 間断なく変化し、充実努力を続けること 6 担当を皆でサポート、育てること 7 平等、公正であること 8 情報はガラス張りであること。**

#### 4 会員数の発足当初からの経緯

- ① 2003年発足時は任意団体で30名の会員でスタート。任意団体時代に既に、コレクションの質の良いコレクター、わたくし美術館が揃い、入会には会員による紹介、コレクターであることを条件にしてきました。一方で美術愛好家、作家、画廊、修復家等もご入会いただいています。
- ② 岩本 昭さんのご指摘により、物故作家コレクターの新入会員がないことが明確になり、現存作家コレクター、作家、画廊にも門戸を開き、わたくし美術館会員増を図りました。行事がコレクター中心（わたくし美術館もコレクター）であることをお伝えし、入会条件がコレクターであることをご説明して、会員の紹介を条件にご入会いただいています。30名→70名前後の会員の増加について理事会の了解を得、漸増させてきています。

背景：会員30名（30万円／年予算）では会誌、会報、放談会で資金が尽きてしまいます。新しい行事をやるにもお金がなくできません。資金不足を解消すべく、少し、前向きに会員を増やしてきた時期もありましたが、一方で急激な会員増は混乱を招き、崩壊につながりかねませんので、極力漸増傾向で増やしてきています。会員数30名を超えていた時点で故岩本 昭さんのご指摘は的を射たものでした。ご指摘は正確でした。梅野 隆さんのご紹介8名前後、猪羽恵一さん、野原 宏さんのご紹介5名前後、放談会ゲスト12名です。会員数の調整は事務局担当として取り進めています。慎重に現存作家コレクター、作家、美術愛好家の入会について合意形成を図りながら模索、受け入れ態勢を敷き、推進してきています。

2003年（30名）～2006年（60名）は柏わたくし美術館のお客様にも声を掛けご入会いただきました。NPO格取得前の数年は会員のご紹介等の努力もあり、65～75名前後へ漸増、行事も拡充されていきました。2010年NPO設立後はNPO法の定めにより入会の条件を設けることができなくなりましたが、極力コレクターであること、会員の紹介があることを入り口で、口頭でお伝えしてご入会いただいています。NPO格取得後はNPO効果で信用ができ、会員数はこの8年程自然に70名前後で安定しています。NPO格取得に加えHPリニューアル効果です。

2019年9月にはわたくし美術館の会員は設立目前美術館を含めると19館（会員の3割）を数えるようになっていました。当初目標にしていた20館をようやく達成しそうです。

NPO格取得後は信用向上に伴い、寄付が会費に加わり財政的にも安定して、行事の運営資金が安定して確保、行事の拡充に取り組んできました。寄付は新規事業に極力充てるように工夫しています。会の基本は“会員は平等”です。物故作家も現存作家も、わたくし美術館もコレクターも、東京も地方も、ベテランも初心者も平等です。

- ③ 2018年7月1日NPO返上、「あーと・わの会」設立。入会の条件を新しく設けています。「わたくし美術館」、目利きの物故作家コレクターが核となり、現存作家コレクター、作家、画廊（画商）、美術愛好家も加わり、多様な方々の会となり、会員数の維持、現存作家コレクターも理事として参画する等、合意形成が進み、同年の組織改革、若返り人事にも貢献しています。
- ④ 会員数について：75名位が上限、75名以上になると自前、手作り、自腹のボランティア活動、特に、手作業が多い会報、会誌制作（コピー等）、事務局に限界が見え始めるため、会員増にブレーキを実施（理事長より、会員数の増加に伴う状態について都度、行事に過負荷がかかっていないか？チェックが入っていました）。100名超規模では専門家が必要になってきます。又専任の理事長に加え事務局担当、一部の行事担当（HP・広報等）には専門家（経験者）も必要です。行事担当の増員も必要となるでしょう。例えば現在、手一杯の事務局、会誌担当の増強が不可欠となります。

腰を入れた対策が必要です。加えて組織、体制作りの見直しも必要となってきます。将来、取り組んで下さい。

- ⑤ 結果的に70名前後規模の趣味の会、ボランティア活動に合うマネジメント方法、特に合意形成の具体的対策を10年以上、模索してきています。2018年の組織改革、若返り人事では担当に集中する負担の分散、軽減がポイントとなり、実行されています。
- ⑥ 強い紐帯（例えば物故作家コレクター）で結ばれているグループと弱い紐帯（物故作家コレクターとわたくし美術館）で結ばれているグループにおける創造性、新たな展開についての比較は、弱い紐帯を通じた会話は、異質な考え方にも触れる機会を増やし、凝り固まった思考をほぐして発散的思考や柔軟な思考を促すことも考えられます。強い紐帯で結ばれているグループは創造性、新たな展開で一步譲るが、一方で一枚岩になって情報共有ができていでしょう。類は友を呼ぶというようにバックグラウンドが似た者同士は強く結びつくといった利点があります。「あーと・わの会」は双方の利点、弱点を客観的に把握してきており、難しいことではできるだけ両取り（会の理念のもと、あまり二元にとらわれないように努力）を目指したところに特徴があります。会員数や行事、総会の出席者数、新しい事業の成功率を見ればこの選択がさほど間違いでないことがわかります。

多様性と共生を意識し、上手く、強い紐帯と弱い紐帯の二元論もワイガヤの楽しい会のもと、ミックスさせ、時に汗と涙を滲ませ、試行錯誤の繰り返しの中から理想の形を作り上げていくと良いと思います。趣味の会において正解、100点なんてないと思います。70点、80点を目指すことです。
- ⑦ 2020年5月以降にコロナ禍で会員の漸減があります。動向に注視が必要です。

## 12-(7) ボランティア

〈目的〉（あーと・わの会 会則 第3条、P.153）「あーと・わの会」は、2018年7月1日発足の**ボランティアの会**、会員が美術を楽しむ美術趣味の会であり、美術普及の実現に寄与することを目的とする。

「あーと・わの会」はこの〈目的〉に記載されているようにボランティアの会です。ボランティアの担当によって運営されています。

### ボランティアの定義

ここにボランティアの定義を「他者の便宜を実現するために、物質的な見返りを求めないで、自発的に自分の資源（時間、労力、財産）を提供する活動」としてみます。辞書で見ると、第1の流れは「志願兵」「義勇兵」、第2の流れは「奉仕者」「慈善家」「篤志奉仕者」「民間奉仕者」です。コトバンクでは、「無償で自発的に社会活動に参加したり、技術や知識を提供したりする人、またはその活動。社会福祉、教育、環境保全、保健など、社会全般を対象とする。一般的にボランティアの理念として、自分から行動すること、ともに支え合い協力し合うこと、見返りを求めないこと、よりよい社会の実現を目指すこと、があげられる。（中略）一方で、行政の役割をボランティアが補っている側面もあり、行政とボランティアの連携や行政による調整などが検討課題とされている」とあります。注意:ボランティアは個人ではなく集まり、団体です。

### ボランティア活動のメリット

**1** ノウハウは汗を流したものの財産になり、能力、キャリア（技能）の蓄積となります。そこには美術普及のノウハウが宝物として存在します。皆さんに経験していただき、実力、キャリアアップしていただくことが良いと願っています。あまり難しい行事はありません。行事は今後も取り進められてゆきます。**2** 新しい行事も提案し、参加をお願いしてゆきます。ノウハウ、実績は担当、ボランティア活動をされた方、事務局に集まっています。これらのノウハウを握拳する（隠す）ことはありません。中には、はじめて世に問うコトもあります。挑戦してみましょう。面白いですよ。その事例？ 『わの会の眼』発刊、「わの会」展や「わの会の眼」展、HPリニューアル、5,500名作家略歴作成、コラム欄設置、先にはわたくし美術館のコラム設置、将来「わたくし美術館」図書の刊行、いくらでもあります。次のテーマも勿論、

順番を待っています。「あーと・わの会」自体が世に問うている美術普及もあります。既存の美術の組織、ヒエラルキーから自由ですから、より新しいことに挑戦できます。**3**少しでも皆の役に立ったという充実感、達成感。**4**皆さんから感謝の言葉もいただけます。

### ボランティア組織は例外なく壁に当たります

壁に当たったその時、“改革を行うことが不可欠”と言われていています。組織を作り直すことです。少し乱暴に見えますが、ボランティア組織の本質を知るため、一度閉じても良いのです。壁に当たった行事は一旦閉じる、場合によっては解散も含め、閉じる事が一つの選択肢であると思います。一旦閉じて新しく作り直すこと、出直すことです。止めてしまうことも選択肢、所謂、棚卸しです。ボランティア組織でボランティア意識のない、感謝のない、何もしない方の存在等、おかしい点が出てきたら、それを一度停止し、又新しく始める。現状維持ばかりでは、マンネリ、組織の硬直化、批判跋扈、一方では作り込み過ぎが発生し、仕事の押し付け合い、行事が多くなり、交代者の不在、作業集中、高齢化が進み、につきもさっちも行かなくなります。誰でもありません、私たちの、行動する様々な事柄が意識、無意識に関わらず積み重なってボランティア組織を崩壊の淵に導きます。改革や解散にはエネルギーを要します。一度組織ができたならそれに乗って動く方がずっと楽です。しかし、マンネリを脱するには、そういう楽になることを捨ててかかるのが必要だと思います。改革があって、ボランティア組織を元から見直すことで初めて、真のボランティア活動が可能、より良いボランティア組織になってゆくとと思います。一旦会を解散することも厭わないことです。現に2003年新生「わたくし美術館の会」の発足、2018年には新旧理事長のもと、私たちは一旦会を閉じて改革実行してきています。しかし実力不足、本来の改革には至らず、中途半端であったように思います。ご指導いただいた両理事長、会員の皆様に対して力不足を申し訳なく思っています。

ボランティアへの理解、共感こそが、「あーと・わの会」が20年も立派に活動そして維持できた最大の理由だと確信しています。ボランティア組織だったからこそ、会が楽しく、盛況だったと思います。ボランティアに参加していただいた方々、ボランティア活動にご理解、ご共感いただいた皆様、ボランティアに無意識であった方々にも多くの行事にご参加いただいています。あらためて深く感謝申し上げます。ボランティアへの理解、共感の有無がやる気や成否を分けます。

## 12-(8) 縁の下の力持ちの座談・放談 (順不同)

20周年を迎える「あーと・わの会」の活動を、「縁の下の力持ち」の立場で支えてきた4人の方にお話を伺った。



### 縁の下の力持ちの皆さん

左から宇都宮義文さん、川崎光草子さん、  
鈴木正道さん、佐々木征さん

2022年3月12日 於：千葉県柏市

### 「裏方」としての私

鈴木正道さん

私は勘定方として、12年間、会計に携わってきた。その間、最も勉強になったのは、NPO法人としての6年間であった。千葉県庁と最後の打合せの際、何か事件があったのか、検閲が厳しかった。掘さ



ん他2人の方は難なくパス。私だけが守衛さんに腕を掴まれ、身分証明書の提示を求められ、何故に県庁に来たのか、用件を聞かれた。NPO 法人設立の旨を伝え、親切に対応してくれた。他の方々は一見して、ビジネス・エリートと判断したのであろう。私のみ、知性のない惚け老人と見たのであろうが。当然、幼児より勉学を怠ってきたツケである。

決算を含め、会計実務は私にとって苦痛ではなかった。私は商業学校の出身ゆえ、複式簿記の基本は知っていた。これは両親のおかげと言える。兄弟の中で出来の悪い私、商業に入れておけば、簿記やソロバン等最低限の生きる術の知識を得られるものと、考えた末である。

ただ、2010 年度（設立時）の NPO 決算登記には非常に苦労した。旧法では NPO 法人の場合、すべての理事に代表権があり、理事長一人に代表権を移す書類上の手続きは、複雑であった。極暑の中、自宅と登記所の間を4回も往復した。今の私ならば当然、救急車のお世話になるところであろう。その後、法律が改正され、事務的に簡略化された。

NPO 法人は2018年6月30日解散、12月31日清算完了、翌19年1月22日閉鎖。解散事務手続きは、知人の仲田一元公認会計士にお願いした。私は清算人として、お手伝いしたのみである。費用的には、非常にリーズナブルであった。仲田先生、心より感謝申し上げます。

いま、勘定方として12年間を振り返る時、一度も資金的に困窮したことはなかった。一定の預貯金残高を残し、翌期に繰り越す、健全経営であった。

私が無事、勘定方を勤めあげることができた背景には、堀 良慶氏夫人、光江さんに負うところ大である。心より感謝申し上げます。

## 2005 年 梅野 隆さんのご紹介で入会

川崎光草子さん

2005 年～11 年 入会直後の10月頃会誌制作の仕事を引き受け、6年間。

2006 年 会計事務引き受け、1年間。

2018 年 会誌・会報・チラシ・DM 等の発送事務引き受け、現在迄。

入会直後にそれ迄の数冊の会誌を見本として渡され、年4回の会誌制作を依頼されました。“こんな風に”とだけ。不安だらけでしたが同じように作り上げればいいのだと思いました。投稿者はアイウエオ順、手書きの原稿はA4サイズに inputs、表紙には絵の写真、費用節約のためカラーを希望の方からは実費をいただく、安く仕上げてくれるコピー業者さん探し等、最初は右往左往でした。アイウエオ順が絶対、と思込んでいたので、時々、空白頁が出てしまったこともあり。しだいに会員数、投稿数が増え、製本の時、小さなホッチキスでは留め切れず、これは体力勝負だと思ったことを覚えています。

その後、太田貞雄さん、小山美枝さんにバトンタッチすることになりました。お二人の方々の会誌を拝見すると、ゆったり感と楽しさが大きく感じられ、担当者は大事だ、私は向いていない、もっと早く交代すれば良かったと、つくづく思ったことです。

私が忘れられない事に「わの会」コレクション展があります。絵を描いている方はご自分の作品もどうぞ出品して下さい、と言って下さる寛大な態度に甘えて、私も腕前そっちのけ、恥ずかしさも忘れて、幾度か自分の絵を出品させていただきました。その時のDMには出品作家名がアイウエオ順に並べられ、ある時、川崎光草子の次に岸田劉生とあり、思わぬ事象に私もびっくり、見せた母も大笑いして、こんな事、滅多に無いわよね！ と楽しい場面がありました。

でも、そのハプニングだけでなく、そういう方々の絵と自分の絵との大きな落差を身に沁みて感じる機会にもなりました。刺激を沢山いただいて、逆にとても有難かったと思っています。

わの会の閉会が検討されていることはとても寂しい気が致します。でも堀さんのこの会があって、そこに私達が偶然に寄り添わせていただいた年月は、大きなプレゼントだったのだと、深く感謝しています。堀さん本当に有難うございました。

**〈入会から会計担当を経て、理事、更に監事へ〉**

岩本 昭氏のすすめで入会したが、初めは右も左もわからず、借りてきた猫のような状態であった。何度目かの放談会に出席したとき、岩本氏から言われた言葉が強く残っている。

それは、太田貞雄氏と二人で「あーと・わの会」が、「変な方向に向かわないように見守ってほしい」と言われたことである。当時は、わかりましたと答えたが、今一つ「変な方向」の意味を正しく理解していなかったように思う。

当時の新入会員としては、「あーと・わの会」の全体像を把握できておらず、四半期発行の会誌と放談会のことしかわかっていなかったように思う。

その後、川崎光草子氏から会計を引き継ぎ、会の資金の流れから、ようやく「あーと・わの会」の全容がわかってきた。予算のこと、事業計画、無借金の健全経営であること等である（昔から組織の中身を知りたいければ、経理部門を担当するのが手取り早い方法と云われていることを実感）。

会計を担当して気が付いたこともあった。

一つ目は、年会費を支払い期限までに支払わない会員が多いこと。そのために会計は通帳付け込みに、事務局は督促に余分な手数を掛けていること。

二つ目は、趣味の会とは言え、会計担当等が無報酬で業務を引き受けていたので、次に引き継ぐ担当者からは少し報酬を出すことを提案し、実現の切っ掛けを作ったこと。

その後、監事を長く担当し、理事会では会費未納者の現状を毎回報告し、事務局の支えになることを心掛けたつもりであるが、力不足であったと感じている。一方、監事として、事務局長の腰の軽さ、聞く耳を持つが、事務局長としてのブレない考え等を見てきた。そのため、理事人事のこと等を含め、事務局長の労力と苦勞がよくわかり、余人をもって代えがたいポジションであることを実感してきた。

**〈作家顕彰活動のこと〉**

やはり翻れば、骨董市での体験である。骨董市で絵を見ても買う決断ができなかったこと。理由は自分の好みが決まっていないこと、更に画家についての知識が乏しいこと、骨董市場の絵画の相場もわかっていないこと等である。他の要因としては、作者不詳で売れずに市を転々として、いつの間にか、額の破損や作品の剥離につながる作品も目にし、この現状をなんとか救いたい気持ちも働いたこと。そこで問題解決のために自分なりに考えたのが、①気になる画家の画集や図録を収集すること。とくに画家の初期の図録は貴重であるので極力ゲットすること。②回顧展、遺作展等を極力鑑賞すること、遠方の場合は図録を入手し精読すること。③初見の画家については、すぐに略歴を調べる。後日、このことが多くのお会いで役に立つ体験済み。④自分流の美術鑑賞術を身に付けること。⑤気になる画家については、作風を記憶すること。⑥主な美術団体の記念誌を入手し、創立の趣旨や創立メンバーを記憶すること。

これらのことを駆使して、いままで蒐集活動を続けてきた。そのため所蔵品の大半は作者不詳で入手し、作者を特定したものである。何と言っても一番嬉しいのは、画家本人やご遺族に辿り着き喜ばれたときである。だから止められない。手元資金が乏しい者には、乏しいなりの蒐集の仕方があることを身をもって実践できたと思っている。勿論、長年の調査、研究の積み重ねで、自分の蒐集すべき方向がわかり、無銘であっても気になる作品を掘り起こすことに生き甲斐を感じ始めている。又、近年は作品に出会った際、一目で文章に書けるもののみ選び、書けそうもない作品は、たとえ有名作家であっても手を出さない蒐集方針が変わってきた。

畏友・元会員の故福嶋誠二氏のすすめで入会。2005年第2回コレクション展から参加。17年経過でや、古参会員、高齢会員か？ コレクターでもなく、「門前の小僧、経を習わず、経も読まず」であるから体育会系的活動で、さしたる貢献が無く恥じ入る。

#### 〈わの会 入会で 楽しかったことども〉

- ◎ コレクション展、作品展、開催時に到着した作品を箱から取り出し、作品を初めて眺めた時の感動は当作業担当者冥利に尽きると言っても過言ではない。又、同作業担当仲間との「労働を共にした」という喜びと、連帯のキズナを強めたと確信する。
- ◎ 退任した会社社長が展覧会に来場し、出展者個々の特性を説明している時、「色んな方との交友ができて羨ましく素晴らしい！」との賛辞を貰った。入会のキッカケを作ってくれた故福嶋誠二氏に改めて合掌。
- ◎ なにしる、作品の売り買いではなく買い一方という、「一種の収集中毒症の集団」であるから多士済々である。多数のご紹介は困難なので若干のメンバーを身近な人に限りご紹介する。
  - \* 鈴木正道氏。私と同じ高齢者ゾーンで禅宗の高僧の品格と尊敬している。\* 当会のシャーロック・ホームズ的存在の佐々木征氏。真似のできない追跡力である。\* 当会の紫式部と尊称し、タテマツル、川崎光草子さん。\* 国宝級の音痴の金沢の畝 一雄氏。\* 若手作家育成に努力している荒井よし枝さん。\* 放談会誌に私の雑文を良く掲載してくれた井澤尚子さん。\* 堀 良慶大和尚は皆さんご存知につき、当会活動を陰で支えていただいた堀夫人光江殿の功績を忘れては天罰があたる！ \* 教育長で教育関係の叙勲を受けた紳士にしては私の如き低級趣味の人間にも交わっていただいている小松富士男先生。\* アールブリュットの作品も求めるが、その途でボランティアも行っている福田豊万氏。他にもご紹介したい方多数ながらキリがないからここで止める。
- ◎ なんていったって、かかる面々との二次会が楽しかったなあ。人と人のつながりは、文字と文字ではダメで、フェース・ツー・フェース、ショルダー・ツー・ショルダーでメシを一緒に食う、一緒に酒を呑むに尽きるんだよなあ。

#### 〈当会運営で困難だったであろう事等〉

兎角、芸術家集団は、一家言を持つ人々の集合体であるから、理念その他モロモロの要因で、離合集散を繰り返しがちであり、コレクターの集団とて例外では無い。従って、

- (1) 活動の中軸であった孤軍奮闘の事務局は四方八方から注文が遠慮なく浴びせられたが、当会発足以降人的体制の変更なしに頑張ってきた堀氏に敬意。約2年後に堀氏が事務局を退くとのことだが其の後の当会の活動が如何になるのか注視したい。
- (2) 古来からクレーム的人物は居たが、当会にも存在して当該人物にお引き取りいただくのに苦労した経験がある。
- (3) 当会スタート時の任意団体からNPO法人化し、そのため公式手続きが煩瑣となり、一定の社会的評価・認知度を得た時点で思い切って当初の任意団体を選択した。この間の手続きにご担当の方に腐心いただいた。
- (4) 事務局堀氏に同行し遠隔地の会合に出席し、堀氏の体調が悪化したこと。幸い堀夫人同行でなんとか自宅まで辿りつけた（持病の発症、その後手術）。

#### 〈今後について〉

- (1) 当会組織、会員コレクターの眼力、財源をもって、若手育成の一助になるような事業を定例化できたら良いと思っている。安井、梅原も初めは新人である。
- (2) 事務局交替時に堀氏・同夫人に対する最大級の表彰を行うべきである。



(3)『わの会の眼Ⅱ』に英文を付した心意気を以てUSA又は英国、仏国辺りで、展覧会を開催できたらいいとの夢を果たしたいものである！ ゼア イズ ア ウィル、ゼア イズ ア ウェイ！

## ■ 座談・放談（鈴木正道さん、川崎光草子さん、佐々木征さん、宇都宮義文さん、事務局まとめ）

- 1 「あーと・わの会（以下、わの会）」に入会せず、市井のコレクターのままでいたら何もできなかった。入会し、コレクション展に出品、放談会で作品紹介、会誌に投稿、皆さんに公開でき、評価いただいた。楽しい、これが一番です。（佐々木さん）
- 2 私は退職後も引き続き絵を描いていたが、縁あって「わの会」に寄り添うことができました。私にとって「わの会」は何にも代えることのできない会です。楽しく、プラスになり、心から感謝しています。自分の絵が皆さんのコレクションの間に展示され、比較し自分の絵の位置がよくわかりました。知識も多くいただきました。（川崎さん）
- 3 担当、ボランティアは色々な方々の意見や不満も聞くことになる。それが仕事でもあり、辛抱することも必要です。皆さんよく頑張った。（宇都宮さん）  
宇都宮義文さんは「事務局の用心棒」と名のり、事務局や担当を総務人事面からもサポートいただきました。（川崎さん）
- 4 鈴木正道さんの絵の処分は見事でした。質の高い作品は公立美術館に寄贈。仲間から求められた作品は快く譲る。志のある仲間には惜しげもなく一括寄贈する。売れる作品は付き合いの長い画廊に処分をお願いした。お世話になった方には作品や、高価な茶道具も差し上げた。是非、その処分方法を会誌等に紹介いただきたいとお願い致します。江戸っ子、男気のある素晴らしい見本だと思います。（事務局）
- 5 福田豊万さんの現存作家のコレクション・支援活動は資金が潤沢でなくともこれだけのことができるという見本だ。時にアールブリュット（生の芸術）の作家の企画展には頭が下がる。放談会にも多くの作家をお連れいただきご紹介いただいた。（宇都宮さん、事務局）
- 6 「わの会」は様々な方の集まりです。多様性があり、かつ気軽な会です。学歴、職歴、経歴、実績に関係なくこれらから離れ自由、平等です。会を利用する目的で入られた方、自己主張が強い方は自然に去り、時の試練で残った方々は宝物のように思う。（佐々木さん、宇都宮さん）
- 7 会には抽象画コレクター、具象画コレクター、版画コレクター、物故作家コレクター、水彩画コレクター、作家もいる。実に様々な絵に触れることができました。自分の不足しているところ、欠点が変わり、補うことができました。（佐々木さん）
- 8 「わの会」が長続きしたのは、平等で様々な方が集まり、楽しい会であることに加え、野原理事長の方針でもある“絵の売買を会に持ち込まない”ことも効果的であったように思う。得をした人は良いが損をした人は批判となり易い。（鈴木さん、宇都宮さん）
- 9 HP上の粹狂老人のアートコラムに外部から多くの問い合わせ、展開があります。ネットの力をあらためて実感しています。「わの会」のHPの威力がここにもあります。（佐々木さん）  
佐々木征さんの発掘顕彰活動は世に出すべきレベル、本として出版、後世に残してほしい。（事務局）
- 10 2021年秋に鈴木正道さんの大病からの全快祝いを兼ねて、松山庭園美術館と九十九里浜へ太平洋を見にゆきました。幾重にも重なる大きな波を目のあたりにして久しぶりの太平洋にデカさに酔いしれました。浜近くの鮮魚店の海鮮丼が美味しかった。松山庭園美術館での此木ご夫妻の語らいの楽しさ、抹茶がとても美味しかった。茶道具、琴のコレクションはすばらしい。同館での第2回「わの会」コレクション展の展示手伝いの時、平園賢一さんの名品がすごく重く、川崎光草子さんに手伝ってもらい展示できた。お茶会の時に、又訪問したい。（宇都宮さん、鈴木さん、川崎さん、事務局）
- 11 事務局は会のお手伝い、雑用係、嫌われ役と自ら任じて、“地走り”という地を這うように段取り、雑巾がけ、責任を回避することなく、後始末を心掛けてきました。「あーと・わの会」の今後について、事務局長の退任が会に影響します。解散の可能性も含め現状について、ご相談し、ご意見をいただきました。（文責：事務局）

## 13 会の会則

(名称)

第1条 当会は、あーと・わの会 と称する。

(事務所)

第2条 当会は、事務所を千葉県柏市に置く。

(目的)

第3条 当会は、平成30年(2018年)7月1日発足のボランティアの会、会員が美術を楽しむ美術趣味の会であり、美術普及の実現に寄与することを目的とする。

(団体の種類)

第4条 この会の団体の種類は任意団体である。

(事業)

第5条 当会は、会員が美術を楽しむため、又美術普及を目的に次の事業を行う。

- 1 コレクションの公開、美術普及活動の推進及び表彰
- 2 講演会の開催(総会、放談会、コレクション展開催時に合わせ実施)
- 3 埋もれた作家の発掘、顕彰、普及
- 4 ホームページ(HP)による活動状況の公開
- 5 作品持ち寄り放談会
- 6 会誌・図書の発行

1～6は市民へのサービス、市民にも開放された事業です。

上記の目的を達成するために必要な事業として総会、理事会、会報、広報、アンケート等を実施。

(会員)

第6条

- (1) 会員はこの会の目的、理念に賛同及び第7条を了承した上で入会した個人及び団体

(入会)

第7条 会員の入会について

- 2 会員として入会しようとするものは、別に定める入会申込書により、事務局経由で理事長に申し込むものとし、次の4条件を満たし、理事長の承認を得るものとする。
  - (1) 絵画・彫刻のコレクターであること。  
注意：1 愛好家、画家、画廊主でも作品を蒐集していれば対象となる。  
2 既にNPO法人あーと・わの会会員は対象外で(1)の制約を受けない。
  - (2) 会員の2名以上紹介のあること。(紹介1名の場合、事務局に相談、必要に応じ事務局が紹介者となる。紹介者ない場合、HP見て入会希望者は事務局、理事長で入会判断)
  - (3) 会の目的、理念を認識、了承すること。
  - (4) 社会一般常識を持ち、①会員同士の批判 ②会の批判 ③他会員の所蔵作品批判は抑制、批判は常識レベルで自制すること。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、理事会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、又は会員である会が消滅したとき。
- (3) 2ヶ月以上会費を滞納したとき。
- (4) 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第 11 条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、理事会の議決により、これを除名することができる。

- (1) この会則、入会条件に違反したとき。
- (2) この会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(抛出金品の不返還)

第 12 条 既納の入会金、会費及びその他の抛出金品は、返還しない。

## 役員

(種別及び定数)

第 13 条 この会に次の役員を置く。

- (1) 理事 6人以上 16人以内
- (2) 監事 1人以上 2人以内

2 理事のうち、1人を理事長、1人を副理事長とする。

(選任等)

第 14 条 理事は、理事長が決め、理事会において承認を受ける。

2 監事は、総会において選任する。

3 総会が招集されるまでの間において、補欠または増員のため監事を緊急に選任する必要があるときは、前項の規定にかかわらず、理事会の議決により、これを選任することができる。この場合においては、その理事会開催後最初に開催する総会において承認を受けなければならない。

4 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

(職務)

第 15 条 理事長は、この会を代表し、その業務を総理する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、この会則の定め及び理事会の議決に基づき、この会の業務を執行する。

4 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (2) この会の財産の状況を監査すること。
- (3) 監査の結果、この会の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会にはかる。
- (4) 前号を報告するため必要がある場合には、総会を招集すること。
- (5) 理事の業務執行の状況又はこの会の財産の状況について、理事に意見を述べ、若しくは理事会の招集を請求すること。

(任期等)

第 16 条 役員任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、後任の監事が選任されていない場合は、任期の末日後最初の総会が終了するまでその任期を延長する。

3 補欠のため、又は増員によって就任した役員任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第 17 条 理事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第 18 条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、理事は理事長判断の元、理事会の議決により、監事は総会の議決により、これを解任することができる。



- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(担当)

第19条 担当は、理事長の指名により担当につく。理事長の判断により担当を解任できる。このことを理事長は理事会に報告しなければならない。

**総会**

(種別)

第20条 この会の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第21条 総会は、会員をもって構成する。

(権能)

第22条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 会則の変更
- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 事業報告及び収支決算
- (5) 監事の選任又は解任、及び職務
- (6) 資産の管理
- (7) 清算人の選任
- (8) 解散した場合の残余財産の処分
- (9) 第15条第4項第3号による監事からの報告事項に関する事
- (10) その他運営に関する重要事項

(開催)

第23条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
- (2) 会員総数の3分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第4項第4号の規定により、監事から招集があったとき。

(招集)

第24条 総会は、第23条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

2 理事長は、第23条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から60日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第25条 総会の議長は、その総会において、出席した会員の中から選出する。

(定足数)

第26条 総会は、会員総数の3分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第27条 総会における議決事項は、第24条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第28条 各会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法(メール)をもって表決し、又は他の会員を代理人として表決を委任することができる。

(議事録)

第 29 条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 会員総数及び出席者数〈書面表決者若しくは電磁的表決者（メール）又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。〉
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果

## 理事会

(構成)

第 30 条 理事会は、理事及び最高顧問をもって構成する。(理事長指名で担当、顧問出席)

(権能)

第 31 条 理事会は、この定款で定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画及び収支予算並びにその変更
- (2) 理事長による理事の選任及び解任の承認
- (3) 会員の除名
- (4) 理事長による理事の職務選任及び解任の承認
- (5) 役員、担当の報酬
- (6) 借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (7) 事務局の組織及び運営
- (8) 総会に付議すべき事項
- (9) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (10) その他総会の議決を要しない会務に関する事項

(開催)

第 32 条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めるとき。
- (2) 理事総数の 5 分の 1 以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第 15 条第 4 項第 5 号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第 33 条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長は、第 32 条第 2 号及び第 3 号の規定による請求があったときは、その日から 60 日以内に理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、開催の日の少なくとも 5 日前までに通知しなければならない。

(議長)

第 34 条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(議決)

第 35 条 理事会における議決事項は、第 33 条第 3 項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 理事会の議事は、理事（最高顧問含む）総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第 36 条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法（メール）をもって表決することができる。

(議事録)

第 37 条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所

- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名〈書面表決者若しくは電磁的表決者（メール）にあつては、その旨を付記すること。〉
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果

## 資産及び会計

(資産の構成)

第38条 この会の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

(資産の管理)

第39条 この会の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第40条 この会の会計は、一般会計原則に従って行うものとする。

(会計の区分)

(事業計画及び収支予算)

第41条 この会の事業計画及びこれに伴う収支予算の決定及びその変更は、理事長がその案を作成し、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第42条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(予備費の設定及び使用)

第43条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(予算の追加及び更正)

第44条 予算議決後にやむを得ない事由が生じたときは、理事会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び収支決算)

第45条 この会の事業報告書、収支計算書、及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、理事会の議決を経た上、当該事業年度終了後最初の総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとし、構成員に分配してはならない。

(事業年度)

第46条 この会の事業年度は、毎年5月1日に始まり翌年4月30日に終わる。

(臨機の措置)

第47条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経なければならない。

## 解散及び合併

(解散)

第48条 この会は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
- (2) 事務局担当作業活動能力が不能となり後継者が不在の場合。
- (3) 会員の欠亡



(4) 合併

(5) 破産

2 前項第1号の事由によりこの会が解散するときは、会員総数の2分の1以上の承諾を得なければならない。

(清算人の選任)

第49条 この会が解散するときは解散総会において清算人を選任する。又は、選任しない場合は理事が清算人となる。

(残余財産の帰属)

第50条 この会が解散（合併又は破産による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げる者のうち、解散総会で議決したものに譲渡するものとする。

(合併)

第51条 この会が合併しようとするときは、総会において会員総数の2分の1以上の議決を経ること。

(事務局の設置等)

第52条 この会に、この会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。

3 事務局長及びその他の職員は、理事長が任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

**雑則**

(細則)

第53条 この会則の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

## コレクター・わたくし美術館・美術普及活動・趣味の会の運営のために

「あーと・わの会」20年のあゆみ 編集委員会

『「あーと・わの会」20年のあゆみ』は、「わたくし美術館の会」の7年間、NPO 法人あーと・わの会の8年間、任意団体「あーと・わの会」の4年間の計19年間の集大成です。会員の皆さんが、積み重ねてきた実績、ノウハウに加え、担当、理事の意見、提案の内容、そして新旧両理事長のご指示事項がその骨格です。

当会はオフィスを持たないリモートワーク運営のため、コミュニケーション不足が潜在、顕在し、その対応がとても重要で、そうしたノウハウも含めまとめています。「あーと・わの会」の会員の皆さん、担当の皆さん、役員の方々の創意、工夫、努力の蓄積によって生まれたものです。いわば汗の結晶です。当レポート・データは会誌、会報に「行事概要」として一度掲載された内容を取捨選択、要約しています。

絵というモノ（芸術作品）を中心に据え、行事（例：会誌、『わの会の眼』発刊、コレクション展、放談会）というコト、お祭り（例：放談会、総会時の講演会、パーティー）というトキを楽しむためのノウハウとして認識し、ご利用いただければと思います。

『「あーと・わの会」20年のあゆみ』の編集にあたって、田村和司さんは客観性を担保すべく第三者的考えで本書の掲載項目を起案していただき、新旧理事長、事務局長による鼎談では「あーと・わの会」の立ち上げ、成り立ち、背景を語っていただき本書の骨格、背骨をご提案いただきました。

野原 宏さんは社史、伝記の経験がとても豊かです。野原さんより、**1** 会員全員のエッセー1頁掲載は他にない魅力となる。（当初1人400文字程度を考えてきましたが、佐々木征さんから短すぎるとのご指摘があり、半頁から1頁となりました。そのため、会員のエッセーを除いた本文「行事概要」を3分の1の約8万字に短縮）**2** 個人情報、固有名詞も多く掲載されており、会員限定版として出版部数は最低限とし、珍本化すべき。**3** 縁の下の力持ちの座談・放談も野原さんのご提案です。**4** U氏コレクションの紹介の方法はご本人のご意向に沿うように、等のアドバイスをいただきました。

縁の下の力持ちの座談・放談は事前に“話したいことをまとめて座談の前にご提出いただくこと”をプロからアドバイスいただきました。

美術界に良い美術普及活動の先導役になる案内書はさほど多くありません。平園理事長のご指示の通り、当『「あーと・わの会」20年のあゆみ』がコレクター・わたくし美術館・美術普及活動・趣味の会の組織運営者にとって少しでもお役に立ち、又参考になればと思って綴ってきました。

池に石を投げ入れた時、水面に輪ができ、その輪が広がるように！

又水すましが泳ぎ、その後ろから次々と輪が広がるように！

美術の普及が拡大するように願っています。

渋沢栄一の言葉です。「たとえどんなことでも、自分のやるべきことに深い〈趣味〉を持って努力すれば、すべてが自分の思う通りにならなくとも、心から湧き出る理想や思いの一部くらいは叶うものだと思う。孔子の言葉にも、〈理解することは、愛好することの深さには及ばない。愛好することは、楽しむ境地の深さに及ばない〉とある。これは〈趣味〉の極致と言って良いだろう。自分の務めに対しては、この熱い真心がなくてはならないのだ」

## 「あーと・わの会」20年のあゆみ

発行 あーと・わの会  
企画編集 「あーと・わの会」20年のあゆみ 編集委員会  
平園賢一 理事長  
野原 宏 最高顧問  
堀 良慶 企画・主執筆  
田村和司 起案  
斉藤博美 編集  
塩崎浩子 校正  
渡邊智也 印刷管理

校正 あーと・わの会の主な校正者 田村和司 佐々木征  
発行日 2023年4月30日 非売・会員限定版  
連絡先 「あーと・わの会」20年のあゆみ 編集委員会事務局  
〒277-0871 千葉県柏市若柴1-358 柏わたくし美術館内  
Tel:04-7134-8293 E-mail:ryokeihori@yahoo.co.jp

印刷 株式会社 総北海  
表紙 西山真一（1906-1989）《「睡蓮」水辺（明治神宮にて）》  
1961年頃 油彩・キャンバス 6号  
U氏コレクション

© あーと・わの会 2023

※作家、遺族等著作権者の方々には、極力作品掲載のご許諾をいただくよう努めましたが、一部ご連絡先の不明な作品がありました。お心あたりの方は「あーと・わの会」事務局にお知らせ下さい。